

2023年度

# 基本資料

事業計画書  
収支予算書  
関連資料

公益社団法人 岡山青年会議所

# The Creed of Junior Chamber International

We Believe :

That faith in God gives meaning  
and purpose to human life ;  
That the brotherhood of man  
transcends the sovereignty of nations ;  
That economic justice can best  
be won by free men through free  
enterprise ;  
That government should be of laws  
rather than of men ;  
That earth's great treasure lies in  
human personality ; and  
That service to humanity is the  
best work of life.



**JCI**  Junior Chamber International Okayama

ミッション

## JCI Mission

トゥ プロバイド リーダーシップ デヴェロップメント オポチュニティーズ  
To provide leadership development opportunities  
ザット エンパワー ヤング ピーブル  
that empower young people  
トゥ クリエイト ポジティブ チェンジ  
to create positive change.

## JCIの使命

青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすために  
リーダーシップの開発と成長の機会を提供する。

《2022年》

## JCI Vision

To be the foremost global network  
of young leaders.

## JCIビジョン

青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを  
先導する組織となる。

## J C 宣 言 文

日本の青年会議所は  
希望をもたらす変革の起点として  
輝く個性が調和する未来を描き  
社会の課題を解決することで  
持続可能な地域を創ることを誓う

《2020年11月5日 世界会議横浜大会 第165回総会にて可決承認》

## 綱 領

われわれJAYCEEは  
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し  
志を同じうする者 相集い 力を合わせ  
青年としての  
英知と勇気と情熱をもって  
明るい豊かな社会を築き上げよう

《1960年12月総会決定》

## 岡山JC三信条

- 修 練** 岡山JCは、青年経済人として郷土の経済発展に貢献し、企業を基盤として社会貢献を  
行い、不易と流行を常に意識し、行動に移すべく、自己修練を行う団体である。
- 奉 仕** 岡山JCは、快適で活力あるまちづくりができる人材を育成する団体である。
- 友 情** 岡山JCは、志の基に集まった会員相互が、青年会議所運動を通して、切磋琢磨し、真  
の友情を培う団体である。

「21世紀における(社)岡山青年会議所のあるべき姿」  
《1999年1月14日 第1回定時総会承認（内容同上）》  
「岡山JC三信条」

《2009年11月4日総会承認》  
《実施期間2010年1月1日～2014年12月31日》

2023年度スローガン

<p>公益社団法人日本青年会議所 スローガン</p> <p><b>Drive our dreams</b> 日本の魅力で世界を席卷しよう</p>	<p>公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 スローガン</p> <p><b>For the future</b></p>
<p>公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 スローガン</p> <p><b>岡山が輝き 夢溢れる まちの創造</b></p>	<p>公益社団法人岡山青年会議所 スローガン</p> 

〔目 次〕

[ 1 ]	公益社団法人岡山青年会議所	2023年度	基本理念 基本方針	2
[ 2 ]	公益社団法人岡山青年会議所	2023年度	理事長所信	3
[ 3 ]	副理事長方針			6
[ 4 ]	専務理事・常任理事方針			8
[ 5 ]	委員長事業計画			10
[ 6 ]	監事抱負			15
[ 7 ]	公益社団法人岡山青年会議所	2023年度	委員会職務分掌	16
[ 8 ]	公益社団法人岡山青年会議所	2023年度	年間公式スケジュール表	18
[ 9 ]	公益社団法人岡山青年会議所	2023年度	組織図	20
[10]	公益社団法人日本青年会議所	2023年度	出向者	21
[11]	公益社団法人日本青年会議所	中国地区協議会	2023年度 出向者	21
[12]	公益社団法人日本青年会議所	中国地区岡山ブロック協議会	2023年度 出向者	21
[13]	公益社団法人岡山青年会議所	2023年度	理事長セクレタリー	21
[14]	公益社団法人岡山青年会議所	2023年度	直前理事長セクレタリー	21
[15]	公益社団法人岡山青年会議所	2023年度	役員選挙管理委員会 委嘱メンバー	21
[16]	公益社団法人岡山青年会議所	2023年度	収支予算書	22
(付)	公益社団法人岡山青年会議所	2023年度	理事長公職委嘱表	25
	公益社団法人日本青年会議所	2023年度	組織図	26
	公益社団法人日本青年会議所	中国地区協議会	2023年度 組織図	27
	公益社団法人日本青年会議所	中国地区岡山ブロック協議会	2023年度 組織図	27
	公益社団法人岡山青年会議所	歴代理事長		28
	公益社団法人日本青年会議所	J C 宣言文		29



**基本理念** 誰からも愛され、誰からも頼られる、光輝く存在の岡山青年会議所であるよう、行動に努めていこう。決して自らの利益のみの追求することをよしとせず、関わるすべての人や地域社会、そして仲間と組織の幸せを願う強い心をもって会員一体となる活動を進めていこう。

**基本方針** ひととはひとでしか磨かれない。熱く泥くさい想いをもち、共に未来を信じ只々前を向いて進んでいこう。常に謙虚な気持ちを忘れることなく誰もがひとの本質を愛し、夢や希望溢れる未来輝く郷土岡山を創りあげていこう。

郷土岡山にしかない、固有の魅力を再発見しブラッシュアップすることで、まちの新たな価値を創出しよう。多様な人々が活躍できる仕組みづくりを通して、輝くひとがまちを輝かせ郷土を進化させる好循環を創造しよう。

時代に即した新たな感性を持ち続けることで、地域にとって必要とされる場所であり続けよう。我々が先頭に立ちすべての起点として、未来を創造し行動に移していくことで、周囲に感動を与えられる存在となっていこう。

同志と共に普段と異なる空間で本質を追求し、会員が積極的に参加できるよう規律ある学び多き貴重な場を提供しよう。連綿と紡がれた友情を認識し、楽しむ気持ちを忘れず常に高い意識で新たな交流の機会を創出しよう。

公益団体としてコンプライアンスを徹底し、高い透明性を確保した活動や運動を展開していこう。時代に適応した制度を確立し、地域社会へよりよき影響を与えることで、誰からも愛され頼られる唯一無二の団体となろう。

組織として常に戦略性を持ち一体となった組織運営を行い誰からも愛されるよう行動に努めていこう。地域発展のため新たな手法を確立し対外からは信頼と共感、対内からは、頼られる存在となるべく活動を進めていこう。

## 〔2〕公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 理事長所信



第73代理事長 安部 真良

2015年 1月入会  
前期一会員研修委員会 委員  
後期一総務委員会 委員  
2016年 岡山J Cの魅力発信委員会 幹事  
2017年 総務・広報委員会 副委員長  
2018年 共感溢れるまち岡山創出委員会 副委員長  
2019年 会員拡大委員会 委員長  
2020年 総務室 専務理事  
2021年 ひとつくり室 副理事長  
2022年 まちづくり室 副理事長

### はじめに

世界中に大きな災禍をもたらした新型コロナウイルスは、例外なく我が国にも大きな影響をもたらしていることは周知の事実であります。2020年に「緊急事態宣言」が発令され、その後も寄せては返す波のように何度もコロナ禍に見舞われ、社会に大きな影を落としてきました。それでも人々は、それぞれに置かれた場においていまだかつてなかった状況に適応を図り、新たな道を模索してきました。いつしか「ニューノーマル」という言葉も誕生し、新たな価値観が生まれ、行動様式も変化を遂げています。

世界中が新型コロナウイルスとの向き合い方を掴みつつある今、ただコロナ禍を愚ぼばかりではなく、次へ向けてスタートを切るべき時期が訪れようとしています。コロナ禍で学んだことを通して新しい時代を築いていかなければならないタイミングが眼前に迫っているとも言えます。

それは我々の住む郷土岡山も例外ではありません。岡山もまた、コロナ禍の影響を脱し、再びスタートを切ろうとしています。岡山青年会議所は1951年に設立され73年を数えようとしています。その設立趣意書にはこうあります。「青年は人類社会発展の原動力」「郷土の産業経済的発展、日本経済の再建にたずさわる」。戦後の焼け野原から郷土の復興を志した青年たちが、青年会議所を設立し、弛まぬ努力と不断の努力により戦後復興を成し遂げることができたのは、国や地域の発展だけを願う強い心があったからこそではないでしょうか。結果、ひとが成長し、日本という国そのものが組織として強くなり、復興へと歩みを進めることができたことは言うまでもありません。コロナ禍という大きな災禍に長い時間苦しみ、そこから再び新たな出発を図る今こそ、設立時の原点を改めてかみしめ、将来を築くのは私たち青年の役割であること、日本社会の、岡山の未来を切り拓いていくリーダーシップが求められていることを自覚し行動していかなければなりません。

岡山の豊かな未来を切り拓く存在としてその中核をなすためにも、誰からも愛される、皆に頼られる「唯一無二の存在」としての岡山青年会議所であるよう、行動に努めていくべきです。そのためには、戦後復興を成し遂げた青年たちが道を示してくれたように、決して自らの利益のみを追求することをよしとしない、関わるすべてのひとや地域社会、そして仲間や組織の幸せを願う強い心が必要です。「ひとによし、地域（まち）によし、組織（J C）によし」、まさに「三方よし」の精神をもって、会員一体となり活動を進めていきましょう。

### 「ひとによし」——ひとつくり室

岡山青年会議所の魅力の根幹は「ひと」にほかなりません。設立以来、連綿と受け継がれてきたひとつくりは、まさに膝と膝を突き合わせ、会員同士が切磋琢磨し「ひと」と「ひと」が磨きあうことで、友情と絆を深めつつ、互いに成長を促すことで成り立ってきました。そこで育まれたリーダーシップは、岡山の、そして日本の発展を担うべく、大きな役割を果たしてきました。この2年間こそ、コロナ禍のもと「ひと」との距離を取らざるを得なくなり、岡山青年会議所ならではのひとつくりの本質を見いだすににくい時間が続きますが、「ひと」との距離が離れた中でも「ひと」の本質である心の距離は離すことなく、組織としての一体感を保ち行動してきたからこそ得られた経験があるのも間違いありません。その経験を積極的に取り入れつつ、長い歴史の中で受け継いできたひとつくりと融合し、新たなひとつくりのスタンダードを再度築いていくことが必要です。新たなスタンダードの確立によってひとつくりをさらに高いステージに進めていくことができます。それが成し遂げられ会員一人ひとりが輝く「ひと」に成長し得たとき、岡山青年会議所には新たな魅力が加わると確信しています。

私たち会員が輝きを放ち社会に確固たる存在感を示す行動を取れば、活動をともしたい新たな人財も加わろうとすることでしょう。岡山青年会議所の礎である「ひと」が増えていくことによってさらなる発展をも促されることとなります。人財を募り、組織を拡大していくことで岡山というまちを牽引していく力も増していきます。将来を豊かなものにするためにも、新たなひとつくりのスタンダードを作り上げましょう。そのためには各委員会から出向してくる皆の力が欠かせません。全員の力を結集し、会員拡大を図っていきましょう。

### 「まちによし」——まちづくり室

豊富な恵みをも瀬戸内海を望む岡山は、交通の利便性、気候、歴史と文化、観光、スポーツと多様な魅力に溢れたまちであると同時に、限りない可能性を秘めたまちで、これらの魅力を活かしていくためには、まずは岡山ならではの豊かな魅力を再認識することが重要です。岡山に特化した他にはない魅力が何であるのかをもう一度突き詰め、それらを従来になく新しい形で、岡山のまちがキラキラとさらに輝く「まち」になるようにブラッシュアップしていくことが岡山のより一層の発展のために取り組むべき課題です。岡山青年会議所にとって、郷土発展の中核を担いリードしていくことで、岡山を魅力溢れる輝く「まち」といいたらしめ、新たな価値を創出することは我々の果たすべき役割の一つであります。

また、まちづくりを推し進めるためにはやはり人財を欠かすことはできません。これからを担うべき「輝く人財」を見出し創出するためには、様々な人々が岡山青年会議所に加わり、活躍したいと思える組織であることが重要であると共に、岡山青年会議所は「輝く人財」をどんどん生み続ける団体である必要があります。岡山青年会議所と繋がることで「ひと」が輝く。輝く「ひと」が増えれば増えるほど輝く「まち」岡山の実現に繋がると信じ運動・活動を続けていく必要があります。そして現在、社会は多様化へと向かっています。企業活動のグローバル化や超スマート社会、少子高齢化により注目される「ダイバーシティ

&インクルージョン」に代表される多様化容認の動きもまた、その一例と言えるでしょう。岡山の人々にも喜んでいただけるような、多様な人々が活躍できる仕組みづくりもまた、今後岡山の「ひと」が輝くための大切な鍵となるでしょう。「ひと」が輝き、その「ひと」がまちを輝かす「ひと」と「まち」の好循環を生み出す一翼を岡山青年会議所が担っていきましょう。

## 「地域によし」——地域連携室

新型コロナウイルスの影響は人々の健康のみならず、組織や団体の絆にも大きな影響を与え、「地域（まち）」と団体、企業の連携をも弱体化させました。今一度、地域連携を強化し、地域の社会問題を率先して岡山青年会議所が解決していくべきです。そのためには岡山青年会議所が各団体の先頭に立ちそこから新たな魅力を見だし、地域連携の先頭を切る必要があります。その中で新たなアイデアを生み出し、地域の問題を解決し得る新たなビジネスモデルも作ることで、誰もが幸せになれる仕組みを創り出すことが求められています。この岡山の人々が幸せになる取り組みを岡山青年会議所が行うこと、まさに「地域によし」となる活動を進めていきましょう。

また、2022年に3年ぶりに開催された「うらじゃ」。ようやく岡山の夏の風物詩が戻ってきました。1994年に、先輩諸兄が「共生と融和」をテーマに、郷土岡山の活性化のために創り育ててきた「うらじゃ」。復活を遂げた今こそ、さらに多くのひとに愛されるまつりになる大きな可能性を秘めています。市民による市民のためのまつり「うらじゃ」のあるべき姿を追い求め、誰もがより能動的に参加したくなるまつりへの仕組みづくりが今求められています。岡山の市民に心から愛されるまつりとさらに飛躍させていきましょう。

## 「JCによし」——交流室

私たちは同じ志のもとに集まった同時代の仲間であり、会員相互の交流が図ることのできる例会は貴重な学びの場であるべきで、青年会議所ならではの貴重な機会といえます。会員相互の交流は、青年会議所の魅力の中でもかけがえのないものです。ただこの2年間は新型コロナウイルスの影響により、膝をつきあわせての交流は甚だしく損なわれることになりました。「ニューノーマル」が打ち出され、そしてコロナとの向き合い方を学んだ今、あらためて従来の枠組みにはとらわれず、新たな形で交流する機会を創出することが求められます。創出された機会が尊く、大変貴重なものだとして理解し、会を運営することが大切なのです。会員の成長を心の底から思い、岡山青年会議所にしかできない「会員ファースト」な例会運営をしていきましょう。

また、交流を価値ある時間とするのが、岡山青年会議所が培ってきたおもてなしの心です。礼儀礼節を重んじつつ相手の趣味嗜好に配慮し、参加された相手へ感謝の気持ちを持って設えを行い、参加をする側もその意図を汲み取りつつ積極的に楽しみ、学ぶ姿勢が大切です。両者の思いが交わる中に、価値ある場が生まれます。交流とは、ただ顔を合わせる場ではなく、積極性と高い意識を持って学び取る姿勢があつてこそ活かすことができる機会です。そこでの学びは会員にとって大きな糧となるでしょう。会員が学び取ったことは、会員のみのものにはおさまりません。このことは我々を送り出してくれた家族や従業員にも波及するはずで、周りの人々の糧にもなることを強く意識し、貴重な機会であることを肝に銘じ、交流を図っていきましょう。

## 「組織によし」——財政規則審査室・総務室

岡山青年会議所がひとづくり、まちづくりに勤しみ、ひいては岡山の発展に寄与していくためには、私たちの存在や活動が広く知られることが重要です。認知されることをきっかけに、岡山の人々に一層の理解と共感が得られれば、それが私たちの活動への後押しとなり、さらに活動を広げていく力となるはずで、また、広報はただ活動を告知し伝えるだけにとどまるわけではありません。それらを活用しつつ、戦略性をもって取り組むことが重要です。共感が広がることで岡山青年会議所の存在を高め、唯一無二の団体であることを多くの方に認知してもらう機会を創出しましょう。そして広報は外部に向けたものにとどまりません。青年会議所には、様々な業種の、様々な背景を持つ会員が幅広い活動に携わっています。その広がりゆえに、会員一人ひとりの活動が見えにくくなっている現状があります。今一度、一体となった組織として邁進していくためにも、青年会議所の内部に向けた広報活動も力を入れていきましょう。

岡山青年会議所を支える土台が「ひと」であるの言うまでもありません。私たちの活動をより地域社会への貢献につなげ、発展に寄与していくには、私たちは人財の輪をより広げるとともに社会的な信頼のある団体であり続けなければなりません。地域社会と密接に結びつき、よりよい影響を与える団体であるためには、活動や運動を通じて信用をさらに保持し高めていかなければなりません。そのために必要なのは活動や運動にとどまらず、コンプライアンスを徹底した、透明性のある組織運営となります。公益団体であることの強い認識と高い透明性を意識しながら、「扇の要」としての大きな役割と責任を持ち、組織運営を行っていきましょう。

このようにコンプライアンスの徹底と透明性の重要性が社会的にも増している昨今、岡山青年会議所に新たに設けられたのが「財政規則審査室」です。時代に適応し、先駆けてコンプライアンスを重視した姿勢を打ち出し、信頼感を高める団体であるべく、重要な役割を果たすことが求められます。

## 終わりに

「三方よし」——私が大切にしているこの言葉は「買い手よし、売り手よし、世間よし」を表す近江商人の活動の理念を表したものです。自分のことよりもお客様のこと、皆のことを大切にして商売をすべきというこの考え方は、「ひと」と「ひと」との関係性を見直さざるを得なくなった、混沌とした現代社会においても有効なもので、明るい豊かな社会の創造を標榜する私たちにとっても欠かせない考え方であると確信しています。

新型コロナウイルスの影響にさらされた社会は、確実に変化を遂げました。それでもコロナに翻弄された2年間、我々は英知を集結し、今新たな知恵と工夫をもってコロナ禍から抜け出し、新たなスタートのポジションに立ったのが今ではないでしょうか。そこで重要なのがリーダーシップをもって社会を牽引する存在です。変化の波にさらされつつ、同じ過去には戻れないことを知り、その中で知恵と勇気をもって、そして使命感をもって引っ張る存在があつてこそ、社会は豊かな未来を描くことができます。ここ岡山の地でその役割を果たすのが私たち岡山青年会議所にほかなりません。伝統ある「ひとづくり」を怠らず、ひとをつくることで組織がさらに活性化し、その活動がまちをよりよくすることができます。私たちの活動がまちに大きな貢献を果たすことができれば、私たちの存在感が高まることにもなります。まさに「ひとによし、地域（まち）によし、組織（JC）によし」の三方よしの状態が生まれます。それらは相互につながりあつて、好循環を生み出すことができるでしょう。

それを成し遂げたとき、私たちは輝く「ひと」としてまちの中核をなす存在となり、また私たちの活動によって輝く「まち」が築かれ、その活動から光り輝く存在に「岡山青年会議所」がなつていくことでしょう。「三方よし」の精神をもって、愛されるひと、まち、組織であるよう、ひいては会員皆様によりよい輝く未来にもつながるこれからのために、切磋琢磨しながら行動を起こしていきましょう。

最後に、本年度も、公益社団法人日本青年会議所に多くの会員を向出させていただきます。LOMでは得られない貴重な経験を積み、それぞれの職責を全うすることができるよう、岡山青年会議所一丸となって支援させていただく所存です。

特別会員の皆様、関係各位におかれましては、本年も、岡山青年会議所に対しまして、格別のご支援とご協力、ご指導とご鞭撻を賜りますことを衷心よりお願い申し上げます。

## 長期ビジョンスローガン・考え方

あって良かった。  
岡山 J C

ひとづくり

まちづくり

青年会議所活動を通して築かれる  
若者同士の強固な絆

これまでになかった事業への挑戦を  
通じて検証する「おかやまのまち」

若者ならではの、若者にしかできない挑戦を  
通じて創造する「新しいおかやま」

<ひとづくり>

岡山青年会議所による修練は確実な自己成長を促し、また互いに切磋琢磨を繰り返しながら築かれる若者同士の絆は、確実に新しい岡山を創造する力になっていきます。岡山青年会議所に入会したすべてのメンバーが「出会えてよかった。」と胸を張って言える団体を目指します。

<まちづくり>

青年会議所運動で培った能力を存分に発揮し、郷土おかやまの発展に無くてはならない、若者にしかできない事業を推進していきます。そして、岡山青年会議所が郷土おかやまに必要不可欠な団体、岡山の方々に「岡山 J C がある良かった。」と思われる団体を目指します。

## 長期ビジョンアクションプログラム

立ち上がり期		浸透期		拡大期
2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
長期ビジョンの検証（総務委員会）				
長期ビジョンの啓蒙		中間答申	長期ビジョンの啓蒙・策定	
既存事業の継続・発展・検証				
これまでになかった事業へ挑戦するための企画・立案・検証				

- 年間10名以上の純増を目指し、2024年当初150名の会員を得ることを目標とする。
- 若者ならではの、若者にしかできない事業の企画・運営を行う事により、新しいおかやま創造の一助とする。
- 長期ビジョンスローガンを例会にて掲示する。

### ※ビジョン推進会議の設置

2022年に中間答申として2020年、2021年における事業に対する検証を行う。2023年、2024年に新長期ビジョン策定のためのビジョン推進会議を設置する。

### ※長期ビジョンの検証

事業計画書に長期ビジョンとの合致点、事業報告書に長期ビジョンの達成した点、達成できなかった点について記載し事業後の検証を行う。また、全事業終了後に総務委員会にて長期ビジョンの検証を行う。

## 〔3〕副理事長方針



ひとづくり室

副理事長 **井戸啓太**

安部理事長よりひとづくり室副理事長という大役を仰せつかり、その重責に身が引き締まる想いで

です。「ひとづくり」は岡山青年会議所の根幹であり、礼儀礼節や利他の精神を大切に、修練を重ねること

で自立したリーダーを育成する文化は不変の価値です。

会員の成長に最も大切なことは運動や活動に参加をすることです。学びや達成感、成功体験を得る

にも新たな仲間たちとの出会いを得るにも参加をしないと何も始まりません。しかし、只々会員に

参加して欲しいと伝えて参加してもらえないものではありません。運動や活動に参加してくれた会員が

意義や想いを感じられる必要があり、本質であるひとづくりの価値向上が強く求められます。その中で、

互いに切磋琢磨し、本気で関わったからこそ生まれるのが絆であり友情であります。熱く泥くさい想

いを持ち運動や活動に参加し続け、常に謙虚な気持ちを忘れることなくひとの本質を愛し、岡山のま

ちを愛する人財を育成してまいります。そして、夢や希望溢れる未来輝く郷土岡山を創ってまいります。

最後に、特別会員、現役会員の皆様には、より一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い

申し上げます。

2014年 7月入会  
後期一会員研修委員会 委員  
2015年 広報・渉外委員会 委員  
2016年 岡山の未来創造委員会 幹事  
2017年 渉外委員会 副委員長  
2018年 会員研修委員会 副委員長  
2019年 総務委員会 委員長  
2020年 未来室 副理事長  
2021年 監事  
2022年 監事



まちづくり室

副理事長 **大森将平**

安部理事長よりまちづくり室副理事長という大役を仰せつかり、重責に身が引き締まる思いです。

全力で安部理事長をお支えし職務にあたる所存です。

穏やかな気候、世界中から注目を集める瀬戸内海の多島美など自然がもたらす恩恵はもちろん、交

通の要衝であることや昨今盛り上がりを見せる地元スポーツなど、郷土岡山には固有の魅力が多数存

在しています。しかしながら県外の方はおろか、地元に住み暮らす我々ですらその魅力を把握しきれ

ていないことは大きな課題であります。今こそ岡山青年会議所が先頭に立ち、郷土のポテンシャルを

創造し、まちの魅力をさらに進化させる必要があります。また「まち」の輝きには「ひと」の輝きが

必要不可欠です。「ダイバーシティ&インクルージョン」に代表される多様化容認などといった社会的

な動きをいち早く捉え、まちづくりを通して岡山に関係するすべてのひとや企業、団体などが相互に

好循環を持續・発展させ、輝く人財を輩出し続けることのできる仕組みづくりに挑戦することは我々

の責務であります。

最後になりますが、特別会員、現役会員の皆様におかれましては、より一層のご指導ご鞭撻、ご支

援ご協力を衷心よりお願い申し上げます。

2016年 7月入会  
後期一会員研修委員会 委員  
2017年 まちづくり委員会 委員  
2018年 総務委員会 幹事  
2019年 まちづくり委員会 副委員長  
2020年 岡山の未来創造委員会 委員長  
2021年 総務室 常任理事  
2022年 総務室 専務理事



地域連携室

副理事長 **高島裕介**

本年度、安部理事長より副理事長の職を仰せつかり、光栄に思うと同時に、責任の重さを強く感じ

ております。全力で安部理事長をお支えする所存です。

地域連携室は大北委員長率いる「地域連携強化委員会」と綾部委員長率いる「うらじゃ委員会」を

担当させていただきますので、活動を通じて会員の成長を実感できる室にして参ります。

コロナ禍といった大きな変化により、数多くの社会問題や課題を抱える今だからこそ郷土岡山を想

い、強いリーダーシップで新たな英知を集結しなければなりません。我々にしかできない新たな試み

を持って「ひとによし、地域によし、組織によし」を体現する新たな枠組みを構築し、誰もが幸せを

感じられる地域を創出していきましょう。

また2022年に2年の中止を乗り越え、うらじゃがようやく岡山に帰って来たことで、まちには

多くの賑わいが生まれています。2023年には28回目を迎え、大きなうねりを乗り越えたからこそ、

新たな時代の地域に愛されるまつりとしての価値を誰もが感じられる「うらじゃ」にしていくことを

2018年 1月入会  
前期一会員研修委員会 委員  
後期一渉外委員会 委員  
2019年 総務委員会 幹事  
2020年 渉外委員会 副委員長  
2021年 地域経済連携委員会 委員長  
2022年 地域未来室 常任理事



交 流 室  
副理事長 **幡 山 益 聖**

本年度、安部理事長のもと、副理事長を仰せつかりその重責を強く感じております。今までの経験を活かし理事長を補佐することは勿論のこと、安部理事長が思い描く理想に向けて自らを律し、これまでの感覚や常識にとらわれることの無いよう、大塚常任理事と共に新しい交流の価値を創出してまいります。

変化し続ける社会情勢に対して柔軟な発想をもち、新たな価値観が求められています。これから訪れる新しい時代に向けて、決して止まることなく流れる時間と空間を尊重し、脈々と続く岡山青年会議所が誇る友との友情、感謝の心、おもてなしの心意気を大切に、本郷委員長率いる例会委員会、中西委員長率いる渉外委員会と共に全力で、ととのえさせていただきます。会員が一同に会する例会は尊い時間であり、学び多き会の運営を心掛けなければなりません。誰もが輝き学ぶ意識を持って参加できる空間を創造し、成長の機会を提供できる会員ファーストの運営を行います。また、主体性と協調性を兼ね備えているメンバーだからこそ、周囲を巻き込み各々が目的意識をもった交流の場が創り上げられます。参加された相手へ誠心誠意、感謝の気持ちをもって設えることで、双方にとって価値ある貴重な時間となり、相手の期待を超える空間が創出でき実りある交流が図られます。

本年度、唯一無二の「おもてなし」と「礼儀礼節」そして「感謝の心」の精神を大切に岡山青年会議所だからできる空間を、さらに価値ある存在へとなるように輝く交流室の実現を目指し、会員全員で新たな時代を創りあげるよう邁進して参ります。

2015年 7月入会  
後期一会員研修委員会 委員  
2016年 渉外委員会 委員  
2017年 総務・広報委員会 幹事  
2018年 会員研修委員会 副委員長  
2019年 会員拡大委員会 副委員長  
2020年 総務委員会 委員長  
2021年 総務室 専務理事  
2022年 地域未来室 副理事長



財政規則審査室  
副理事長 **二 垣 幸 広**

安部理事長より財政規則審査室副理事長という大役を仰せつかり、光栄であると同時にその重責を強く感じております。津島委員長率いる財政規則審査委員会とともに関わるすべてのひと、地域、組織にとって「三方よし」となる組織運営が実現できるよう縁の下から活動や運動を支えてまいります。

岡山青年会議所はこれまで、様々な企業、行政、地域社会と密接に結び付き多くの補助金や協賛金を得て事業活動を展開してきました。それは偏に我々は社会的な信頼のある公益団体であり、高い透明性の確保が大前提であることは言うまでもありません。

今まで以上にコンプライアンスを徹底し、社会的な信頼を高めていくとともに、より効果的な事業展開が実施できるよう時代に適応した制度を確立することで、岡山の発展に寄与する「唯一無二の団体」への一助となります。

最後に、岡山の新たな未来を切り拓いていくことができるのは我々青年であると確信しております。英知と勇気と情熱をもって行動し、誰からも愛され頼られる光り輝く青年経済団体となるよう全力で職務を遂行して参ります。

特別会員、現役会員の皆様にはより、一層のご指導ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2016年 1月入会  
前期一会員研修委員会 委員  
後期一岡山の未来創造委員会  
2017年 総務・広報委員会 委員  
2018年 共感溢れるまちおかやま創出委員会 幹事  
2019年 エキサイトおかやま委員会 副委員長  
2020年 まちづくり委員会 委員長  
2021年 交流室 常任理事  
2022年 監事

## 〔4〕専務理事・常任理事方針



総務室

専務理事 **本多高明**

本年度、安部理事長より総務室専務理事という大役を仰せつかり、責務と重責を強く感じております。安部理事長をお支えすることはもちろんのこと副理事長を補佐し全会員の支えとなるべく「三方よし」の精神で活動を進めてまいります。

総務室といたしましては、青山常任理事兼委員長、率いる総務・広報戦略委員会を担当させていただきます。組織の土台である総務・広報戦略委員会は、一人ひとりが「扇の要」であると強く認識しなければいけません。会員への発信の多くは総務室からであり、その重責と責任は誰か一人が意識し活動するのではなく総務室一体となり進めていく必要があり、強い意識と高い透明性を意識しながら組織運営を行ってまいります。

広報は、対外、体内と戦略性をもち進めていかなければ行けません。活動を告知するだけでなく、多くの方に共感をもっていただくこと、そして岡山青年会議所が唯一無二の団体であることを認知してもらう広報を行っていきましょう。体内広報として、各室との連携を密にし、自ずと各室が広報戦略を計画し進めていけるしくみづくりも行っていくべきです。

最後になりますが、特別会員、現役会員の皆様におかれましては、より一層のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2014年 7月入会  
後期一会員研修委員会 委員  
2015年 会員研修委員会 委員  
2016年 総務委員会 幹事  
2017年 リソース向上委員会 副委員長  
2018年 例会委員会 副委員長  
2019年 会員研修委員会 副委員長  
2020年 オンリーワンおかやま確立  
2021年 渉外委員会 委員長  
2022年 総務室 常任理事



ひとつづくり室

常任理事 **妹尾愛希**

この度、安部理事長よりひとつづくり室常任理事を仰せつかり、その重責に身の引き締まる思いです。本年度は新会員の成長だけを考え、この職務を全うしていく所存でございます。

岡山青年会議所の「ひとつづくり」は73年間連綿と受け継がれ、守り続けてきた「唯一無二」の至宝であります。一方でニューノーマルが求め続けられている昨今の社会情勢に加え、技術革新や価値観の多様化が進む中、時代と変化に即した新たな「ひとつづくり」のスタンダードを模索する必要があります。

多様な環境、違う価値観をもった新会員が同じ目標に向かって濃密な時間を過ごすことで友情と絆を育みながら、自ら考え行動し、夢と希望に向かって挑戦をすることができる環境ときっかけを提供し、他を愛する気持ちと次代を担うリーダーシップを育むことができる研修プログラムを構築してまいります。

「ひととはひとでしか磨かれない」熱く泥くさいその信念と私の全力で「ひとつづくり」にかかわるすべての者が「輝くひと」としての成長と未来輝く郷土岡山の創造に寄与すべく全身全霊職務を全うする所存です。

最後に、特別会員・現役会員の皆様方には一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年 1月入会  
前期一会員研修委員会 委員  
後期一岡山JCパワーブランド確立委員会 委員  
2019年 岡山JCブランディング委員会 委員  
2020年 総務委員会 副委員長  
2021年 ポジティブインパクト共創委員会 委員長  
2022年 例会委員会 委員長



まちづくり室

常任理事 **眞殿昌宏**

本年度、安部理事長よりまちづくり室常任理事という大役を拝命いただき、責務と役割の重さを強く感じております。全力で安部理事長をお支えし、職責を全うして参ります。

大森副理事長よりご指導いただき、竹中委員長の率いる、輝くまち岡山創出委員会と、諏訪委員長の率いる、輝く人財創出委員会を担当させていただきます。

私たちが住み暮らすまち岡山は豊富な資源を持つ可能性を秘めています。どんな状況下であろうと、私たちはまちや自分自身に希望を持てるきっかけを再発掘、また新たな価値を創造し、郷土岡山の輝く未来を見据えた挑戦を行います。

また私たちが輝く「ひと」としてまちの中核をなす存在となり、私たちの活動によって輝く「ひと」が増えるほど輝く「まち」が築かれ、その活動から光り輝く「岡山青年会議所」になっていく事業を目指して参ります。

愛されるひと、まち、組織に、ひいては会員皆様のよりよい輝く未来、これからの築いていくために、安部理事長の掲げる「三方よし」の精神をもって活動を展開して参ります。

最後になりますが、特別会員、現役会員の皆様におかれましては、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年 7月入会  
後期一会員研修委員会 委員  
2020年 会員研修委員会 委員  
2021年 プラスワン創造委員会 副委員長  
2022年 地域経済連携委員会 委員長



地域連携室  
常任理事 **三 垣 章 一**

本年度、安部理事長より常任理事の職を仰せつかり、責任の重さを強く感じております。高島副理事長よりご指導賜りながら大北委員長率いる「地域連携強化委員会」と綾部委員長率いる「うらじゃ委員会」と共に地域連携の先頭に立ち、関わる「ひと」や団体を輝かせる事業が創出できるよう推進して参ります。

社会の変化に伴い世間の視線は厳しくも新しいモノを受け入れる風潮にあります。本年度の地域連携室では「地域によし」を目指し、様々な背景にある問題点に目を向け、過去を振り返りながらも積極的に新しい手法を取り入れ、新しい発想を持って地域や他団体との連携し岡山に新しい仕組みの起点を創りましょう。

また「うらじゃ」は28回目を迎えます。来たる30回を見据えた新たな開催方法を考えていく必要があります。今一度「うらじゃ」創始の想い「共生と融和」の心に立ち返り誰もが参加しやすく関わるひとたちがまつりに関わったからこそ成長を遂げられた。地域と「ひと」から愛されるまつりは「うらじゃ」だということを体現できるよう導いて参ります。最後になりますが、特別会員、現役会員の皆様方にはより一層のご指導とご協力を賜ますよう衷心よりお願い申し上げます。

- 2017年 1月入会  
前期一会員研修委員会 委員  
後期一会員研修委員会 委員
- 2018年 岡山JCパワーブランド確立委員会 幹事
- 2019年 まちづくり委員会 委員
- 2020年 会員研修委員会 副委員長
- 2021年 渉外委員会 副委員長
- 2022年 うらじゃ委員会 委員長



交流室  
常任理事 **大 塚 真 弘**

本年度、安部理事長より交流室常任理事の大役を拝命し、その重責を強く感じております。幡山副理事長、そして本郷委員長率いる例会委員会と中西委員長率いる渉外委員会と共に力を合わせ、LOMの内外を問わず「ひと」と「ひと」とのつながりを強化醸成していく交流の場の創出に尽力してまいります。

生活様式や社会の在り方が目まぐるしく変化中、今までの常識にとらわれない新しい手法が求められています。70年を超える岡山青年会議所の歴史の中で、脈々と受け継がれてきた伝統に、今の時代を生きる我々若者の斬新な発想とアイデアを掛け合わせることでより良い交流の場を創り、岡山青年会議所の会員が他LOMと共に切磋琢磨し友情と成長の実感を得られるよう邁進していきます。

岡山青年会議所の例会は、すべての活動の軸であり、最も学びの多き場でなければなりません。全会員が例会に出席することによって多くのことを学び、郷土「岡山」に求められる人財に成長できる会の設営に取り組みます。

礼儀礼節を重んじ、おもてなしの心を常に持って何事にも取り組むことで、多くの価値に触れることができます。おもてなしをする側、される側の双方が感謝し合い、心を通わせることで真の友情を育むことができます。交流の場そのすべてが、一人ひとりの自己成長につながるまさに「一期一会」の場にして参ります。

- 2018年 1月入会  
前期一会員研修委員会 委員  
後期一会員研修委員会 委員
- 2019年 会員研修委員会 幹事
- 2020年 岡山の未来創造委員会 委員長
- 2021年 プラスワン創造委員会 副委員長
- 2022年 総務・広報委員会 委員長



総務室  
常任理事 **青 山 雅 史**

本年度、安部理事長より総務室常任理事という大役を仰せつかり、責務と重責を強く感じております。本多専務理事にご指導いただきながら、常任理事として総務室を担当させていただきます。組織の土台である総務・広報戦略委員会は、岡山青年会議所がこれからも社会的な信頼のある団体であり続けるためにも、一人ひとりが「扇の要」であると強く認識しなければいけません。公益団体であることの強い認識を持ち総務室一体となりコンプライアンスの徹底した、透明性のある組織運営を行ってまいります。また、広報もただ活動を告知し伝えるだけでなく、実施に至る背景に重点を置き、全事業を横断して関わる事ができる総務室が軸となり、各室と連動をした広報戦略を計画して戦略性をもって外部と内部に発信を行います。岡山の豊かな未来を切り拓く存在としてその中核をなすためにも、まず総務室が率先して活動をし、誰からも愛される、皆に頼られる「唯一無二の存在」としての岡山青年会議所であるよう、会員が円滑に青年会議所活動に集中できる土台となるべく「三方よし」の精神で活動を進めてまいります。

最後になりますが、特別会員、現役会員の皆様におかれましては、より一層のご指導ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

- 2015年 7月入会  
後期一会員研修委員会 委員
- 2016年 会員研修委員会 委員
- 2017年 リソース向上委員会 幹事
- 2018年 まちづくり委員会 委員
- 2019年 岡山JCブランディング委員会 副委員長
- 2020年 渉外委員会 副委員長
- 2021年 地域経済連携委員会 委員
- 2022年 おとなまちづくり委員会 委員長

## 〔5〕 委員長事業計画

### ひとづくり室 会員研修委員会



委員長 井戸 啓太

昨今の社会情勢における生活様式や経済活動の変化は、青年会議所の価値観の見直しや新たな対応策を促進させ、我々の活動においても大きな変革期となりました。しかし我々が携わるひとづくりは岡山青年会議所の根幹であり、礼儀礼節や利他の精神を大切にし、修練を重ねることで自立したリーダーを育成する文化は不変の価値です。熱く泥くさい想いをもち、岡山のまちを愛する人財を育成してまいります。

今年の会員研修委員会では、新会員に対して青年経済人にとって必要な礼儀礼節や利他の精神を学ぶ機会を提供いたします。岡山県内外の経済界で活躍し続けている方を講師にお呼びし講演をしていただき、それにより多様な環境や立場にいる新会員が青年会議所活動を有意義にするための心構えや緊張感を持って学べる機会を創出します。最初の研修プログラムとして自己開示の重要性に気づきを与え、自分自身と向き合い自己成長のビジョンを明確なものにします。二つ目として、新会員が一丸となって同じ課題を乗り越える経験を通じ、達成感と深い感動そしてかけがえのない友情を得る経験をしていただきます。最後の集大成としては、L O M内に向けての事業の企画・運営を通して、岡山青年会議所の事業構築の基礎を経験していただき、おもてなしに溢れる設営や利他の精神を学ぶことで、行動力ある自律したリーダーシップを身に付けていただきます。研修プログラムだけでなく、日本青年会議所や中国地区協議会、岡山ブロック協議会、さらにL O Mの事業にも積極的に参加することで多くの方と出会い、出会いを通して学びを得ることのできる機会を創出します。

岡山青年会議所の根幹であるひとづくりの文化は不変の価値であり、本質であるひとづくりの価値向上が求められている今だからこそ、参加にこだわり続けることで会員の一人ひとりが成長をする機会を提供し、常に謙虚な気持ちを忘れることなく誰もがひとの本質を愛し、岡山のまちを愛する人財を育成してまいります。そして、自らの未来を信じ成長していく事によって輝く郷土岡山を創出します。

2014年 7月入会  
後期一会員研修委員会 委員  
2015年 広報・渉外委員会 委員  
2016年 岡山の未来創造委員会 幹事  
2017年 渉外委員会 副委員長  
2018年 会員研修委員会 副委員長  
2019年 総務委員会 委員長  
2020年 未来室 副理事長  
2021年 監事  
2022年 監事

### まちづくり室 輝くまち岡山創出委員会



委員長 竹中 広太

私たちが暮らす岡山は、自然環境と都市機能に恵まれ、温暖な気候と自然災害の少なさ、交通の利便性など、生活とビジネスの両面でとても活動しやすく恵まれた地域だと言えます。岡山に住むひとがあらためて岡山の魅力を再発見し、今よりさらに岡山が好きになり、これまで以上に岡山の魅力が高まることで、より良い「まち」への発展につながっていくはずですが。

当委員会では、岡山に住む「ひと」が学び、体験することで岡山の「まち」の魅力を再発見できる事業を行います。地元市民があらためて岡山の魅力を知り、再認識することで、岡山のまちが持つ可能性を最大限に引き出し、岡山の魅力向上へと繋げます。事業を通して、参加者や関わった会員が周囲の人に話したくなるような岡山の魅力を再発見し、「まち」に愛着を持つことで、広く岡山の魅力を発信することを目指します。また、岡山の「まち」に活気を与え、参加した「ひと」に笑顔が溢れる地域活性化事業を行います。私たち若者ならではの斬新な発想をもって岡山の「まち」と「ひと」を明るく照らし、岡山のまちが抱える問題を解決するとともに、活気溢れる輝く岡山のまちを創出します。事業を構築するにあたり、これまで岡山青年会議所が行ってきた数々の事業や歴史を振り返り、これからの時代に即した手法をもって事業を構築することで、私たちにしかできない次代へと残りつながら「まちづくり」事業を実行します。そして全ての事業において、まず私たちが輝きの中枢を担い岡山の行政や企業と連携することで、事業を広く周知するとともに、安部理事長の掲げる「三方よし」の精神を持って事業構築していくことで、岡山のまちから求められる唯一無二の団体を目指します。

「まち」を輝かせるのは「ひと」であり、より良い「ひと」が集まるにはより良い「まちづくり」が必要不可欠です。岡山のまちの魅力を最大限に発揮し、市民があらためて岡山が好きになり、岡山の「まち」がそこに住む「ひと」の笑顔で溢れる事業を展開することでキラキラと輝くまち岡山の創出を目指します。

2019年 1月入会  
会員研修委員会 委員  
2020年 岡山の未来創造委員会 幹事  
2021年 地域経済連携委員会 副委員長  
2022年 こどもまちづくり委員会 副委員長

## まちづくり室 輝く人財創出委員会



2020年 7月入会  
後期一会員研修委員会 委員  
2021年 会員研修委員会 委員  
2022年 渉外委員会 副委員長

### 委員長 諏訪 智彦

私たちの郷土岡山は、災害が少なく、温暖な気候に恵まれ、交通アクセスのよさに加え、海山川の自然と街が身近にあるという、全国的にも住みやすい「まち」として位置づけられています。しかし、県内外を問わず、この魅力が十分に発信される機会が限られており、若者の流出も年々増加している現状があります。この現状を打開するために、まず私たち岡山市民が、岡山の魅力に対して理解を深め、その魅力を主体的に発信していく必要があります。

岡山がいかに魅力的な「まち」であるかを発信するためには、まずその魅力を発信する「ひと」が魅力的な存在でなければなりません。輝く人財創出委員会では、岡山が有する豊かな資源を最大限に活用し、岡山でしか体験できない経験と学びを通し、輝く人財を育成する事業を実施してまいります。特に将来的に岡山の経済発展を担う、青少年に対し、郷土岡山に対する理解を深めてもらい、これを発信する力を養う事業を実施します。また、すでに彼らが有する潜在的な力をさらに引き出す環境を創出することで、長期的にわたり、岡山の地に「輝く人財」を生み出し続ける環境を構築します。座学の学びだけではなく、実際に身体を動かし、時にはそこでの学びを他者に発信するという行動を伴うことで、主体性や論理性、行動力を鍛え、魅力ある人財の育成を実現してまいります。この人財創出の環境づくりを、郷土岡山のさらなる発展に繋げると同時に、岡山青年会議所の存在価値を示すことで、多くの人財を迎え入れ、さらに価値ある多くの事業を創出することを目指してまいります。

まちづくりの基盤に「ひと」は欠かせません。この基盤にいかにか輝きを持たせるかが、本委員会の役割であり責務でもあります。岡山に眠る豊かな魅力を、既存の手法に固執することなく最大限に活用することで、輝く「ひと」を増やし、輝く「まち」の実現へと繋げてまいります。一過性ではない、継続性のある新たな事業を生み出し、地域に付加価値を与えることで、岡山を全国に誇れる、光り輝く「まち」とさせてまいります。

## 地域連携室 地域連携強化委員会



2018年 7月入会  
後期一会員研修委員会 委員  
2019年 岡山JCBブランディング委員会 委員  
2020年 総務委員会 幹事  
2021年 まちづくり委員会 副委員長  
2022年 地域道徳向上委員会 副委員長

### 委員長 大北 大士郎

近年、情報化の発展や新型コロナウイルスの影響で心身共に「ひと」と「ひと」との間に距離が生まれ、コミュニケーションが希薄化する中で、地域での意思疎通が不自由になっている現状があります。物事を点ではなく面で捉え、地域が抱える課題を個々で取り組むのではなく社会全体で解決し支えることで、より強靱な地域の連携強化を図り岡山の「まち」に新たな価値を見出す必要があります。

人口減少・超高齢化社会の到来に対して地方創生を掲げ地域がそれぞれの特徴を活かし持続可能な社会を作るために、政府や自治体だけではなく企業や学校との連携やSDGsを取り込むことで夢や希望を持てる岡山の創生につながります。また地域の現状を知ることで岡山の「まち」へ関心をもつ機会が増え、自社の在り方や自身で考える力を培い、一つの物事を様々な視点から考えられる柔軟性を養います。岡山青年会議所が産官学連携の中枢を担い、地域を活性化させるために企業や学校、自治体等を巻き込み岡山の「まち」をより発展させる事業を行います。また近年、社会的状況の変化による人々の暮らしが多様化、複雑化している今だからこそ従来の社会サービスの提供ではなく、73年間地域に根差した活動を行い、様々な団体との関係を築いてきた我々が市民や他団体を繋ぎ地域との連携を図ります。地域の抱える課題を独自のノウハウを持つ企業や市民に周知したい自治体と連携し、そして安心安全で豊かな生活を望む市民を巻き込み解決へ導くことで、岡山の「まち」で暮らす人々や地域の魅力や価値を再認識し、地域の連携を強化する事で誰もが幸せに暮らせる環境の大切さを伝える事業を行います。

地域の多種多様な特性や強みを活かし連携を行うことで郷土の経済発展に貢献し、市民に安心安全な暮らしを提供するために、地域連携強化委員会が「ひと」と「ひと」との絆の大切さを伝え、地域に誇りを持ち率先して行動を起こし、変化に飛び込む勇気と情熱を持った輝く人財を育成します。そしてひと、地域、組織が相互に作用し、輝く岡山の「まち」を創造します。

## 地域連携室 うらじゃ委員会



委員長 綾部 系一

3年ぶりに開催された「うらじゃ」は岡山の市民に大きな希望を与え、久しぶりの賑わいをまちに生み出してくれました。しかし全盛期と比べ、参加連は半分に減少し、規模を縮小して開催せざるを得ない現状があります。岡山のまちにとって「うらじゃ」は必要な文化と歴史です。今まで以上に、岡山のまちのまつりとして市民に心から愛され、参加したくなるまつりに飛躍させていかなければなりません。

「うらじゃ」は先輩諸兄の郷土岡山への想いと、未来への情熱により「共生と融和」をテーマに今まで作り育てられ、継承されてきました。我々うらじゃ委員会の役目は、参加することで得られる達成感や満足感を多くの市民と共有することで、地域の一体感を生み、郷土岡山への愛着を育てていくことだと考えます。そのためには、関わる「ひと」を増やす必要があります。岡山青年会議所が「うらじゃ」の未来を見据え、その中核を担うことで、市民や企業が参加しやすい環境を率先して構築していきます。その中で、重要な事は全国各地のまつり運営の良いところを学び、今までの取り組みを検証し、今後の在り方を考える機会を設けることです。時代の流れに沿った運営を実施し、参加者の一体感を生み出す契機を作り出します。それらに加え、「うらじゃ」の新たな魅力発見に力を注ぎます。過去に参加したことがある企業や参加連、ボランティアに対して協力を仰ぐことはもちろん、他のまつりに関わる人たちとの連動を模索することが大切です。不易と流行を意識しつつ、新たな価値観を見つけ、ブラッシュアップさせていきます。多くの人たちが、私たち岡山のまちのまつりであると自分事として捉え、感じた想いや魅力を発信することが、未来へ「うらじゃ」を継承する一歩になります。

私たち会員一人ひとりが当事者意識を持ち、全員で能動的に取り組むことで、「うらじゃ」の魅力は更に高まり、岡山青年会議所の価値向上にも繋がります。多くの人から愛され、記憶に残る、輝き溢れる岡山の風物詩たるまつりへと、私たちが進化させていきたいと思います。

2019年 1月入会  
前期一会員研修委員会 委員  
後期一会員拡大委員会 委員  
2020年 総務委員会 委員  
2021年 会員研修委員会 幹事  
2022年 総務・広報委員会 副委員長

## 交流室 例会委員会



委員長 本郷 昌一

昨今、社会活動や生活様式は大きな変化を余儀なくされ、ニューノーマルの考え方が世間に定着したことで、従来にない新たな形での交流が求められています。その一方で、会員が一堂に会することができる例会での会員相互の交流は、青年会議所のかけがえのない魅力です。そして、この交流の機会は会員全員が同時に学び成長でき、絆を深めることができる場である必要があります。

例会とは、私たちが青年会議所活動を行う基盤となる場であり、理事長挨拶からは青年会議所活動への道標のみならず、多くの学びを示していただくことができます。この機会をより貴重なものとするように、会員全員が能動的に目的意識を持って参加できる設営を行います。会員としての品位ある身だしなみ、立ち居振る舞いを徹底し、会を凛とした格式高いものとする事で、例会の緊張感を高めます。また、委員会・同好会・出向者報告をより意味のあるものにするために、言葉だけでなく視覚的にも会員相互の活動を理解できる場を創出します。委員会の枠を超えて普段交流できていない会員とも交流でき、会員同士の新たな絆を生み、また絆をさらに深めることができる場を創ることで、団結力を高め友情という青年会議所の魅力を最大限引き出します。また特別会員の皆様と親睦を深められる機会を創ることで、受け継がれる不易を学び、豊富な経験や見識を身につけ成長すると共に、互いの絆をより強固なものにします。地域の皆様に学びと成長や将来へのきっかけとなる機会を創ることで、私たち自身も学びを得て成長できると共に、岡山青年会議所が市民やまちに意義ある団体であることを広めることができ、さらに存在価値を高めることができます。

例会委員会は、会員が一堂に会する場を通年で設営することを重責と捉え、会員一体となり参加し、交流できる機会の創出を目的とします。全員の目的意識を高め、参加することで成長の機会とできる会員ファーストの運営を行います。例会での学びと成長は、岡山青年会議所の価値を高め、さらに光り輝く存在へ昇華させます。

2019年 7月入会  
後期一会員研修委員会 委員  
2020年 オンラインおやかま確立委員会 委員  
2021年 例会委員会 委員  
2022年 会員研修委員会 副委員長

## 交流室 渉外委員会



委員長 中西大輔

2019年 7月入会  
後期一会員研修委員会 委員  
2020年 渉外委員会 委員  
2021年 まちづくり委員会 幹事  
2022年 おとなまちづくり委員会  
副委員長

生活様式や社会の在り方が目まぐるしく変化する中、膝をつきあわせての交流の機会は著しく減少しました。しかし、岡山青年会議所は「おもてなしの心」を持ち、「ひと」と「ひと」が触れ合うことで多くの学びを得てきました。変えてはならない大切なものを心に持ちながら、時代に即した斬新な発想で新たな交流の機会を創出する必要があります。

各事業に会員が積極的に参加していただけるように、日本青年会議所や地区並びにブロック協議会の情報を迅速に会員にお伝えします。スケジュールの伝達だけでなく、各事業の目的や学びとなる内容を伝えることで、会員が参加意識を持ち、進んで参加していただけるようにいたします。そして、多くの特別会員、各地会員会議所や行政の皆様をお招きし、2023年度岡山青年会議所の体制や所信を周知、認識できる式典を行います。お越しいただいた方に活動や方針を理解していただき、協力をお願いしやすくなるようにし、1年のスタートを切るに相応しい設営をします。また、出向者を支援する場を設け、全員で応援することで、出向に対する意識を高めていただくと共に、会員にも出向の意味や意義、活動が共有できるようにし、出向経験のない会員が将来、積極的に出向したいと思えるようにいたします。そして、友好LOM交歓会では、岡山青年会議所が一丸となってお迎えし、参加していただいた各地青年会議所会員の皆さまから参加して良かった、参考にしたい、と言っていただけの設営を行い交歓会をきっかけにLOMの垣根を超えた交流ができるようにします。また、卒業生には今までの青年会議所活動を振り返っていただける場を提供します。そこでLOMを挙げて送り出すことで、思い残すことなく卒業していただけるようにいたします。

これらの事業を相手を思いやる「利他の精神」を持って設営することで、「おもてなしの心」「礼儀礼節」「感謝の心」を学び自分自身が成長するだけでなく、周りの会員にも波及することで、岡山青年会議所を「唯一無二の存在」にしていき、光り輝く交流の場を創出していきます。

## 財政規則審査室 財政規則審査委員会



委員長 津島周史

2017年 7月入会  
後期一会員研修委員会 委員  
2018年 渉外委員会 委員  
2019年 岡山JICフランディング委員会 副委員長  
2020年 オンリーワン岡山確立委員会 副委員長  
2021年 会員研修委員会 委員  
2022年 こどもまちづくり委員会 委員長

昨今の情報化社会の進展は目覚ましく、現代を生きる私たちには高いコンプライアンス等の意識が必要です。そんな社会の中で、岡山青年会議所は時代に適応し、先駆けてコンプライアンス等を重視した姿勢を打ち出し、信頼感を高める団体でなければなりません。また、岡山青年会議所は2012年から公益社団法人格を取得し、運用しています。その中で、より時代に適した公益団体であるべく活動することが求められています。そして、公益団体としてより高みを目指し、活動するために今年度、財政規則審査委員会が新設されました。

当委員会では財政・公益・規則という遵守すべき3本柱をLOMに定着することを活動の中心とします。その中で、公益性の高さで名高い公益社団法人日本青年会議所と今までの岡山青年会議所の使用していた各種マニュアル・様式・事業計画書等を統合します。そして、そのマニュアル等の内容を誰が見ても理解ができるように冊子化や、セミナーの開催、さらには各会員が理解するまで徹底して関わります。そして、その当初作成した各種様式等が正しく運用されているかを厳しく審査します。その審査という言葉から自分たちが特別な立場として活動しているように捉える会員もいるかもしれませんが、あくまで我々は扇の一部を構成しているに過ぎないことを自覚し、厳しいだけではなく各委員会と共に議案を作成している気概を持ち、関わり続けます。また、インボイス制度の導入等、刻々と変わる社会情勢を鑑み、常に新しい情報を収集し、LOMに還元することで組織としての力強さを上げるとともに、会員の成長に寄与します。

公益とは「国家または社会公共の利益。広く世人を益すること。」です。正に、社会に生きる「ひと」を輝かせるために活動する岡山青年会議所の使命そのものです。その使命を全うするために、当委員会がどんな事業等でも最後まで関わり続けることで全ての内容において高い公益性を実現します。そして、岡山青年会議所が地域から信頼され、地域に求められる唯一無二の団体となるべく活動に邁進します。

## 総務室 総務・広報戦略委員会

委員長 青山雅史



2015年 7月入会  
後期一会員研修委員会 委員  
2016年 会員研修委員会 委員  
2017年 リソース向上委員会 幹事  
2018年 まちづくり委員会 委員  
2019年 岡山JCブランディング委員会 副委員長  
2020年 渉外委員会 副委員長  
2021年 地域経済連携委員会 委員  
2022年 おとなまちづくり委員会 委員長

創立から73年目を迎える岡山青年会議所は、多様化する時代の変化に対応し、青年経済人としての強みを活かして、岡山のまちの未来に寄与してきました。私たちがアフターコロナの岡山のまちに求められる運動を展開するには、時代に即した強靱な組織体制を構築し、柔軟な組織運営をする必要があります。

本年度の総務・広報戦略委員会は、公益団体であることの強い認識をもち、目の前の業務に従事するだけでなく、試行錯誤を繰り返しながら次代へと引き継いでいける運営体制を構築していきます。総会や理事会の会議運営では、定款に沿った適切な運営や資料作成を徹底いたします。加えて対外対内に向けた広報戦略を立て、今まで以上に盤石な広報体制も整えます。予定者セミナーでは委員会の委員長、副委員長、幹事に職責を理解していただきます。そして、シニアクラブ総会、代表世話人会を通して、歴史や伝統を学び、後世に引き継ぎ、今後の活動に活きる学び多い設営を行います。また、外部への広報活動では、情報過多によって伝えたい情報を届かせることが難しくなっているからこそ、ただ活動を告知し伝えるだけではなく、実施に至る背景に重点を置き、全事業を横断して関わることでできる総務室が軸となり、各室と連動をした広報戦略を計画して、戦略性をもって事業の最大効果を創出できる広報活動を行います。岡山青年会議所が自ら伝えたい情報を発信できる、広報誌の「暖流」や「ホームページ」「SNS」では、対外向け対内向けと、メリハリをもった広報を行い、会員数が増えた今だからこそ、今一度、一体となった組織として邁進していくために岡山青年会議所の内部に向けた広報活動にも注力します。

岡山の豊かな未来を切り拓く存在としてその中核をなすために、まず総務・広報戦略委員会が組織の「扇の要」としての大きな役割を理解し、誰からも愛される、皆に頼られる「唯一無二の存在」としての岡山青年会議所であるよう、全メンバーが円滑に青年会議所活動に集中できる土台となるべく「三方よし」の精神で活動を進めてまいります。

## 〔6〕 監事抱負



### 監事 中村 彰 宏

2023年度、安部理事長より公益社団法人岡山青年会議所の監事という大役を拝命し、その重責を強く感じております。歴史と伝統ある岡山青年会議所の監事として、一念通天の想いで職務を全うする所存でございます。

安部理事長が掲げられる三方よしの精神を実現すべく、監事という俯瞰的な立場だからこそ見える視点から、会員の増加に伴い更なる継承と進化が求められている組織自体のあり方について、しっかりと監査いたします。ひいては関わる全てのひとや地域社会、そして仲間と組織の幸せを願う強い心で会員一体となった活動につなげてまいります。

また単に監査をするだけではなく、安部理事長の基本理念および基本方針に沿った事業を展開し、俯瞰的立場を利活用しながら、これまでの活動で得た経験や考え方を会員にしっかりと伝えてまいります。

まだ新型コロナウイルス感染拡大の収束目途が立ちませんが、これまでの生活からの学びを活かし、新しい時代を築く岡山青年会議所の一員として、明るい豊かな社会の創造に邁進してまいります。

最後に特別会員および現役会員の皆様、関係各位の皆様にはより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

2016年 1月入会  
前期一会員研修委員会 委員  
後期一岡山JICの魅力発信委員会 委員  
2017年 会員研修委員会 幹事  
2018年 総務委員会 副委員長  
2019年 エキサイトおかやま委員会 委員長  
2020年 総務室 常任理事  
2021年 交流室 副理事長  
2022年 ひとつくり室 副理事長



### 監事 前田 淳

本年度、公益社団法人岡山青年会議所の監事という大役を拝命し、身の引き締まる思いです。

私自身、在籍歴が長くなってきたからこそ、今一度「コップの水を空にして」、岡山青年会議所の不易と流行を見つめ直し、時代の潮流を読むことで「まち」から、さらに必要とされる組織とすべく尽力して参ります。組織図で表されるように、俯瞰的な立場で組織と向き合う唯一の役職として、「まち」や時代が求めているものか、岡山青年会議所が本当に行うべき事業なのかを鋭意監査して参ります。また、岡山青年会議所にとっての大切なものを伝えることは当然に、会社や家庭にどの様に持ちかえればよいか理解できるような講評に努めてまいります。

最後になりますが、特別会員・現役会員の皆様方には一層のご指導ご鞭撻、ご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2012年 7月入会  
後期一会員研修委員会 委員  
2013年 総務委員会 委員  
2014年 まちづくり委員会 委員  
2015年 まちづくり委員会 幹事  
2016年 総務委員会 委員  
2017年 まちづくり委員会 委員  
2018年 渉外委員会 副委員長  
2019年 まちづくり委員会 副委員長  
2020年 会員研修委員会 副委員長  
2021年 まちづくり委員会 委員長  
2022年 連携強化室 常任理事



### 監事 加藤 高明

2023年度、公益社団法人岡山青年会議所の監事という大役を拝命し、その重責を感じております。歴史と伝統ある多士済々の岡山青年会議所の監事として、粉骨碎身の覚悟で一年間、職責を全うすることをお約束いたします。

2020年から始まったコロナ禍での限られた青年会議所活動により、岡山青年会議所の在り方もコロナ禍にコミットしたものになりつつありますが、岡山青年会議所の不易の部分を残しつつ流行に合わせる必要があります。そのためにも、本年度は、規則審査委員会という新しい委員会のアドバイザーを兼ねることで、LOM全体にコンプライアンス意識の徹底と青年会議所活動の指針となる事業計画について、厳格に審査いたします。

また、同年同期である安部理事長が理想としてかけける想いが本年度の岡山青年会議所の活動に反映されているか否かを確認し、理事会や執行部会議の場において監事の立場として意見をすることで、青年会議所活動に携わっていきます。

最後になりますが、最終年度監事という自身の職責にも符号する役職に感謝するとともに、敬愛してやまない先輩諸兄及び現役会員の皆様におかれましては、一年間ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

2015年 1月入会  
前期一会員研修委員会 委員  
後期一会員拡大特別委員会 委員  
2016年 まちづくり委員会 幹事  
2017年 交流推進委員会 副委員長  
2018年 岡山JICパワーブランド確立委員会 副委員長  
2019年 岡山JICブランディング委員会 副委員長  
2020年 例会委員会 委員長  
2021年 未来創造室 常任理事  
2022年 連携強化室 副理事長

## 〔7〕公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 委員会職務分掌

### 【会員研修委員会】

- ・会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・変革の時代に相応しい手法による新会員研修のあり方の模索、実践
- ・青年経済人としての礼儀礼節・マナーの研修
- ・J C I Creed・J C I M I S S I O N・J C I V I S I O N、J C 宣言・綱領、岡山J C 三信条及び長期ビジョンの啓蒙
- ・講師委員会の開催
- ・3分間スピーチの開催
- ・団結して困難に立ち向かい、切磋琢磨しながら一つのことを為すことにより友情を築くプログラムの実施
- ・L O M 内親睦事業の企画・運営を通して、礼儀礼節とおもてなしに溢れる設営や利他の精神を学ぶプログラムの実施
- ・コミュニティープラザの開催
- ・他委員会への委員会訪問の実施
- ・L O M 開催事業への積極的参加と協力
- ・J C I 日本、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・「うらじゃ」への支援・協力
- ・10L O M テニス大会への支援・協力

### 【輝くまち岡山創出委員会】

- ・会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・岡山の魅力を再発見できる地域活性化事業の企画・実施
- ・岡山のまちに笑顔が溢れる地域活性化事業の企画・実施
- ・災害時における対応
- ・L O M 開催事業への積極的参加と協力
- ・J C I 日本、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・「うらじゃ」への支援・協力
- ・10L O M テニス大会への支援・協力

### 【輝く人財創出委員会】

- ・会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名

の獲得」

- ・地域課題解決を図る人財育成事業の企画・実施
- ・青少年の可能性を広げ岡山の人財を育む事業の企画・実施
- ・L O M 開催事業への積極的参加と協力
- ・J C I 日本、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・「うらじゃ」への支援・協力
- ・10L O M テニス大会への支援・協力

### 【地域連携強化委員会】

- ・会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・岡山の未来を創る地域育成事業の企画・実施
- ・地域連携強化推進事業の企画・実施
- ・各連携協定団体への支援・協力
- ・L O M 開催事業への積極的参加と協力
- ・J C I 日本、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・「うらじゃ」への支援・協力
- ・10L O M テニス大会への支援・協力

### 【うらじゃ委員会】

- ・会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・うらじゃ開催支援広告募集事業の企画・実施
- ・うらじゃ振興活動の企画・実施
- ・うらじゃの現状の検証と未来を考える事業の実施
- ・報道機関への対応および行政・報道機関意見交換会の検討・実施
- ・第28回うらじゃ実行委員会への参画
- ・うらじゃ振興会への参画・県外へのP R 活動
- ・うらじゃ実行委員会 総務部会 業務マニュアルの更新
- ・おかやま桃太郎まつりへの支援・協力
- ・L O M 開催事業への積極的参加と協力
- ・J C I 日本、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・10L O M テニス大会への支援・協力

### 【例会委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名の獲得」
- ・ 例会の企画・設営・実施
- ・ 岡山ブロック協議会会長公式訪問の企画・設営・実施
- ・ 企画例会の企画・設営・実施
- ・ 特別会員・現役会員合同例会の企画・設営・実施
- ・ 公開例会の企画・設営・実施
- ・ 卒業生の記憶に残る例会の企画・設営・実施
- ・ LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・ JCI日本、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 10LOMテニス大会への支援・協力

### 【渉外委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名の獲得」
- ・ 特別会員・現役会員合同新年賀詞交歓会の実施
- ・ 出向者を支援する事業の企画・設営・実施
- ・ スポンサーLOM・友好LOMとの連絡調整および交歓会の企画・設営・実施
- ・ アスパック、世界会議への積極的参加を促す手法の検討・構築及び参加のとりまとめ
- ・ 昭和58年生まれ卒業事業の企画・設営・実施
- ・ LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・ JCI日本、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 10LOMテニス大会への支援・協力

### 【財政規則審査委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名の獲得」
- ・ 定例財政規則審査委員会の実施
- ・ 収支予算書、収支決算書の作成並びに修正予算、補正予算、中間決算の実施
- ・ 財政、規則、公益、議案上程等マニュアル・様式等の作成と管理
- ・ 2023年度諸マニュアルの作成
- ・ 定款並びに諸規程及び諸規則の見直し・検討

- ・ 財政規則審査セミナーの実施
- ・ デジタルデータ化の促進
- ・ 事業報告書のデータ保存・管理
- ・ LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・ JCI日本、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 10LOMテニス大会への支援・協力

### 【総務・広報戦略委員会】

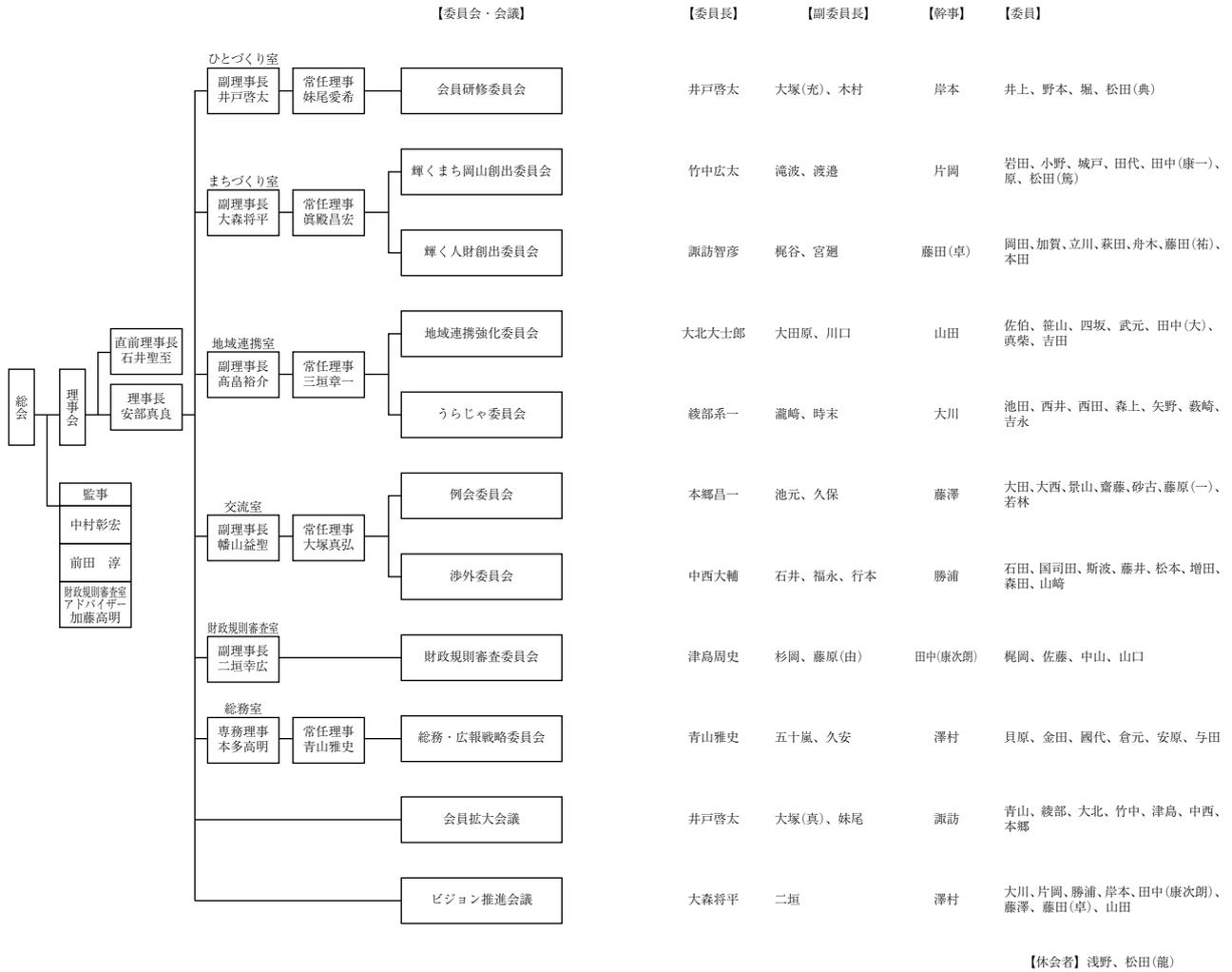
- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名の獲得」
- ・ 慶弔関係事務の実施、庶務規則に沿った事務局運営
- ・ 総会、執行部会議、理事会の設営・運営と議事録並びに会議録の作成・管理
- ・ 議案上程方法の見直しとデジタル会議運営の推進
- ・ 2023年度基本資料、事業報告書、会員手帳の作成及び追加
- ・ LOM年間スケジュールの作成・確認
- ・ シニアクラブ総会、世話人会、歴代理事長会議の設営・開催
- ・ JCI日本への入会促進
- ・ JCCSへの登録促進
- ・ JCLルーム・倉庫内の備品管理と発注
- ・ 理事長公職の整理・調整
- ・ 個人情報の管理及び管理データの見直し
- ・ 理事合宿、理事委員長予定者セミナー、副委員長・幹事予定者セミナーの企画・設営・開催
- ・ 対内・対外的な広報の見直し及び検討
- ・ 広報誌「暖流」の発行
- ・ ホームページの制作・運用
- ・ 報道機関への対応及び行政・報道機関意見交換会の検討・実施
- ・ 情報公開の精査と実施
- ・ 新型コロナウイルス対策とガイドラインの作成
- ・ 各連携協定団体への支援・協力
- ・ LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・ JCI日本、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 10LOMテニス大会への支援・協力

〔8〕公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 年間公式スケジュール表

	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
岡山青年会議所	例会	13日(金)例会① バッジ授与式	8日(水)第一例会② 3分間スピーチ コミュニティ 22日(水)第二例会③	8日(水)第一例会④ 総会① 22日(水)第二例会⑤ ブロック会長公式訪 問	12日(水)例会⑥	10日(水)例会⑦	7日(水)例会⑧ コミュニティ	
	正副理事長会議	17日(火)第1回	2日(木)第2回	2日(木)第3回	6日(木)第4回	10日(水)第5回	1日(木)第6回	
	執行部会議	6日(金)第1回 執行部・理事合同会議	6日(月)第2回	6日(月)第3回	3日(月)第4回	8日(月)第5回	5日(月)第6回	
	理事会	1日(日)新年理事会 6日(金)第1回 執行部・理事合同会議	13日(月)第2回	13日(月)第3回	10日(月)第4回	15日(月)第5回	12日(月)第6回	
	財政規則審査委員会	2022年12月26日(月)第1回 23日(月)第2回	27日(月)第3回	27日(月)第4回	24日(月)第5回	29日(月)第6回	26日(月)第7回	
行事	6日(金) 新年挨拶回り 13日(金) 特別会員・現役会員 合同新年賀詞交歓会 19日(木)～22日(日) 京都会議	7日(火) 歴代理事長会議		19日(水) 日本青年会議所 菓 子部会 2023年度春 季定例会				
岡山ブロック協議会	役員会議	14日(土)(岡山) 28日(土)(総社)	11日(土)(倉敷) 25日(土)(井原)	11日(土)(美作) 27日(月)(岡山)	12日(水)(津山) 27日(木)(玉島)	13日(土)(総社) 27日(土)(笠岡)	3日(土)(西大寺) 12日(月)(岡山)	
	会員会議所会議	28日(土)(総社)	25日(土)(井原)	27日(月)(岡山)	27日(木)(玉島)	27日(土)(笠岡)	17日(土)(児島)	
	公式訪問		日( ) (高梁) 総社・高梁	日( ) 倉敷・児島・玉島 日( ) 井原・笠岡 日( ) 岡山	日( ) 玉野・西大寺・備前 日( ) 津山・真庭・新見・美 作			
	事業				日( ) (岡山) 新会員研修会		日( ) ( ) ( ) ブロックアカデミー 17日(土)(児島) 岡山ブロック大会	
	周年行事	井原 J C (60周年) 真庭 J C (60周年) 新見 J C (55周年)						
	その他	10日(火) 新年挨拶回り(岡山) 15日(日) 倉敷新年互例会(倉敷) 13日(金) 岡山新年賀詞交歓会		日( ) (備前) 野球監督キャプテン会議 3日(金)(児島) ブロックじゃがいも下見ラウンド 15日(水)(総社) 会頭公式訪問	日( ) (備前) ブロック懇親野球大 会	日( ) (児島) ブロックじゃがいも 大会		
中国地区協議会	正副会長会議	7日(土)(WEB)	2日(木)(東広島)	6日(月)(東広島)	6日(木)(東広島)	11日(木)(WEB)	1日(木)(WEB)	
	財政審査会議	11日(水)	9日(木)	10日(木)	13日(木)	18日(木)	15日(木)	
	役員会議	16日(月)(WEB)	24日(金)(総社)	20日(月)(福山)	27日(木)(宇部)	25日(木)(松江)	30日(金)(尾道)	
	会員会議所会議	20日(金)(WEB・京都)					30日(金)(尾道)	
	事業							
	周年行事	三次70周年 府中60周年 小野田60周年 真庭60周年 大竹55周年 井原55周年 因島55周年 新見55周年						3日(土) 下関 J C (70周年)
	ブロック事業	28日(土) 新春会議(広島B)			日( ) 新会員研修(岡山B)	14日(日)ブロック野球 大会(広島B)(府中)	17日(土)岡山ブロック大会(児島) 17日(土)～18日(日)ブロックアカ デミー(広島B)(東広島) 日( )ブロックアカデミー(岡山B)	
その他			13日(月)山口 B C 会議公式訪問(宇部) 14日(火)広島 B C 会議公式訪問(備前) 15日(水)岡山 B C 会議公式訪問(津山) 16日(木)鳥取 B C 会議公式訪問(倉吉) 17日(金)島根 B C 会議公式訪問(松江)					
日本青年会議所	正副会頭会議	6日(金)(J C 会館) 13日(金)(WEB)	1日(水)(名古屋) 9日(木)(WEB) 21日(火)(帯広)	2日(木)(WEB) 30日(木)(沖縄)	13日(木)(WEB) 28日(金)(七尾)	9日(火)(ジャカルタ) 30日(火)(桑名)	14日(水)(WEB) 30日(金)(J C 会館)	
	常任理事会	14日(土)(J C 会館)	17日(金)(J C 会館)	9日(木)(J C 会館)	21日(金)(J C 会館)	19日(金)(J C 会館)	23日(金)(J C 会館)	
	理事会	20日(金)(京都)	18日(土)(J C 会館)	10日(金)(J C 会館)	22日(土)(J C 会館)	20日(土)(J C 会館)	24日(土)(J C 会館)	
	ブロック会長会議							
	総会	21日(土)(京都)		25日(土)(東京)				
	J C I 諸会議	9日(月)～12日(木) J C I 常任理事会/ 理事会(J C I J EM/J BM)				3日(水)～6日(土) アメリカ地域会議 10日(水)～13日(土) アジア・太平洋地域会議 インドネシア(ジャカルタ) 17日(水)～20日(土) アフリカ・中東地域会議 24日(水)～27日(土) ヨーロッパ地域会議		
	NOM主要事業	19日(木)～22日(日) 京都会議(京都)						
	財政審査会議	9日(月)、10日(火)	11日(土)、12日(日)	4日(土)、5日(日)	15日(土)、16日(日)	13日(土)、14日(日)	17日(土)、18日(日)	
	公益審査会議	9日(月)	11日(土)	4日(土)	15日(土)	13日(土)	17日(土)	
	コンプライアンス審査会議	9日(月)	11日(土)	4日(土)	15日(土)	13日(土)	17日(土)	
	広報審査会議							

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
岡山青年会議所	例会	5日(水)第一例会⑨ 総会② バッジ授与式 19日(水)第二例会⑩ 総会③ チャレンジスピーチ	2日(水)例会⑪ 総会④ 3分間スピーチ 理事選挙	6日(水)例会⑫ コミュニティ 20日(水)例会⑬ OB合同	11日(水)例会⑭ 市民公開例会(仮)	15日(水)例会⑮ 出向者報告	6日(水)第一例会⑯ さよなら例会 20日(水)第二例会⑰ 総会⑤ クリスマス家族会 (親睦事業)
	正副理事長会議	4日(火)第7回	2日(水)第8回	5日(火)第9回	5日(木)第10回	2日(木)第11回	5日(木)第12回
	執行部会議	5日(水)第7回 執行部・理事合同会議 19日(水)第8回 執行部・理事合同会議	7日(月)第9回	4日(月)第10回	2日(月)第11回	15日(水)第12回	11日(月)第13回 執行部・理事合同会議
	理事会	5日(水)第7回 執行部・理事合同会議 19日(水)第8回 執行部・理事合同会議	16日(水)第9回	11日(月)第10回	11日(水)第11回	20日(月)第12回	11日(月)第13回 執行部・理事合同会議
	財政規則審査委員会	10日(月)第8回 31日(月)第9回	28日(月)第10回	25日(月)第11回	23日(月)第12回	27日(月)第13回	
行事	22日(土)～23日(日) サマーコンファレンス(横浜)	未定 第28回うらじゃ		5日(木)～8日(日) 全国大会(東京) 13日(金)～15日(日) I O L O Mテニス大会 13日(金)(未定) 懇親ゴルフ 14日(土)テニス1日目 (県総合G) 15日(土)テニス2日目 (県総合G)		20日(水) クリスマス家族会 (親睦事業)	
岡山ブロック協議会	役員会議			9日(土)(岡山) 30日(土)(岡山)	14日(土)(岡山) 28日(土)(総社)	11日(土)(岡山) 23日(木)(岡山)	
	会員会議所会議			30日(土)(岡山)	28日(土)(総社)	23日(木)(岡山)	
	公式訪問						
	事業					23日(木)(岡山) 本次年度引継式	
	周年						
	その他						
中国地区協議会	正副会長会議	6日(木)(WEB)		7日(木)(東広島)	2日(月)(WEB)	9日(木)(WEB)	1日(金)
	財政審査会議	13日(木)	日( )自主監査	14日(木)	12日(木)	16日(木)	7日(木)
	役員会議	20日(木)(横浜)		21日(木)(倉吉)	26日(木)(岡山)	28日(火)(防府)	8日(金)
	会員会議所会議						8日(金) (次年度会長他)
	事業	1日(土)地区コンファレンス(尾道)	5日(土)U11少年少女サッカー地区大会(広島)	2日(土)地区野球大会前夜祭(庄原) 3日(日)地区野球大会(庄原)			
	周年行事	日( ) 米子 J C (65周年)					
	ブロック事業			10日(日)広島ブロック大会(大竹) 24日(日)鳥取ブロック大会( )			
	その他	日( )地区ナイト (横浜)					
日本青年会議所	正副会頭会議	6日(木)(WEB)		1日(金)(山形蔵王) 7日(木)(J C 会館) 21日(木)(高松) 28日(木)(WEB)	19日(木)(軽井沢)	2日(木)(WEB) 30日(木)(神戸)	7日(木)(WEB)
	常任理事会	20日(木)(J C 会館)		15日(金)(J C 会館)	5日(木)(J C 会館)	24日(金)(J C 会館)	15日(金)(J C 会館)
	理事会	21日(金)(横浜)		16日(土)(J C 会館)	7日(土)(東京) 13日(金)(J C 会館)	25日(土)(J C 会館)	16日(土)(J C 会館)
	ブロック会長会議						
	総会				7日(土)(東京)		
	J C I 諸会議	20日(木) J C I 中間常任理事会(J C I MYE)				14日(火)～18日(土) J C I 世界会議 チューリップヒ(スイス)	
	NOM主要事業	10日(月)～15日(土) 国際アカデミー(静岡) 22日(土)～23日(日) サマーコンファレンス(横浜)				6日(金)～8日(日) 全国大会(東京)	
	財政審査会議	8日(土)、9日(日)		9日(土)、10日(日)、30日(土)	1日(日)	4日(土)、5日(日)	9日(土)、10日(日)
	公益審査会議	8日(土)		9日(土)、30日(土)		4日(土)	9日(土)
	コンプライアンス審査会議	8日(土)		9日(土)、30日(土)		4日(土)	9日(土)
	広報審査会議						

# 〔9〕公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 組織図



〔10〕 公益社団法人日本青年会議所 2023年度 出向者

地域グループ 社会課題解決推進委員会	委員長 総括幹事 委員 委員 委員 委員	高 島 裕 介 安 原 和 宏 石 田 祐 己 梶 岡 祐 一 久 安 洋 一 松 田 宏 一 若 林 篤 聖	委員 委員 委員 委員	大 塚 真 弘 佐 伯 純 子 藤 田 祐 己 山 口 陽 平
組織グループ コミュニケーション推進委員会	副委員長 委員 委員 委員	前 田 淳 小 野 陽 平 田 中 大 資 福 永 涼 人	委員 委員 委員 委員	国 司 孝 介 田 喜 勝 西 田 喜 勝
総務グループ JCブランディング会議	委員	原 拓 矢	委員	藤 原 由 季 子
渉外委員会	委員 委員	加 藤 高 明 笹 山 勇 二	委員 委員	大 森 将 平 滝 波 深 介
総務委員会	委員	石 井 哲 也	委員	杉 岡 裕

〔11〕 公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 2023年度 出向者

副会長 副会長幹事	幡 山 益 聖 萩 田 正 樹	副会長幹事 森 田 貴 統
--------------	--------------------	---------------

〔12〕 公益社団法人日本青年会議所 中国地区岡山ブロック協議会 2023年度 出向者

副会長 副会長幹事	中 村 彰 宏 岩 田 優 樹	副会長幹事 國 代 健 介
岡山未来創造会議	副委員長 池 元 純 一	委員 矢 野 修
会員研修委員会	副委員長 木 村 勝 也	委員 藪 崎 聡
夢溢れる岡山創造委員会	副委員長 川 口 修 司	委員 大 西 悟 史

〔13〕 公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 理事長セクレタリー

チーフセクレタリー 梶 谷 拓 史      セクレタリー 景 山 和 毅      セクレタリー 金 田 大 希

〔14〕 公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 直前理事長セクレタリー

セクレタリー 佐 藤 一 弥      セクレタリー 舟 木 康 平

〔15〕 公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 役員選挙管理委員会 委嘱メンバー

委員長 副委員長 幹事	加 藤 高 明 藤 井 彰 一 城 戸 貴 登	委員 委員 委員 委員	小 野 陽 平 四 坂 政 稔 立 川 圭 亮 松 本 卓 也
-------------------	-------------------------------	----------------------	--

# 〔16〕 公益社団法人岡山青年会議所 収支予算書

2023年1月1日から2023年12月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
<b>1. 事業活動収入</b>				
①特定資産運用収入	3,000	10,000	-7,000	
特定資産利息収入	3,000	10,000	-7,000	
②受取入金収入	3,000,000	3,600,000	-600,000	
受取入金収入	3,000,000	3,600,000	-600,000	
③会費収入	28,845,000	27,550,000	1,295,000	
正会員会費収入	25,470,000	24,300,000	1,170,000	
特別会員会費収入	2,800,000	2,800,000	0	
特別会員積立金収入	575,000	450,000	125,000	
④事業収入	53,808,000	42,843,933	10,964,067	
登録料収入	20,942,000	42,843,933	-21,901,433	
広告料収入	32,865,500	0	32,865,500	
⑤受取補助金等収入	0	0	0	
⑥受取負担金収入	0	0	0	
⑦受取寄付金収入	300,000	580,000	-280,000	
受取寄付金収入	300,000	580,000	-280,000	
受取募金収入	0	0	0	
⑧雑収入	300	1,000	-700	
受取利息収入	300	1,000	-700	
雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	85,956,300	74,584,933	11,378,367	
<b>2. 事業活動支出</b>				
①事業費支出	0	0	0	
事業費支出	0	0	0	
②管理費支出	83,066,841	70,471,456	12,595,385	
総務費支出	300,000	300,000	0	
事務所費支出	3,000,000	3,080,000	-80,000	
会議費支出	0	0	0	
給料手当支出	1,200,000	1,300,000	-100,000	
退職給付手当支出	0	0	0	
福利厚生費支出	0	0	0	
会場設営費	13,662,625	0	13,622,625	
企画・演出費	23,884,446	0	23,884,446	
本部関係費	457,958	0	457,958	
講師関係費	2,182,940	0	2,182,940	
広報費	5,745,740	0	5,745,740	
資料作成費	784,120	0	784,120	
報告書作成費	300,118	0	300,118	
参加記念品費	1,488,921	0	1,488,921	
事務委託費支出	1,210,000	605,000	605,000	
旅費交通費支出	0	0	0	
通信費支出	911,676	3,417,644	-2,505,968	
印刷費支出	1,000,000	2,511,920	-1,511,920	
消耗品支出	350,000	722,975	-372,975	
光熱水料金支出	0	0	0	
会員費支出	2,000,000	1,100,000	900,000	
例会費支出	0	0	0	
広報費支出	0	0	0	
特別会員費支出	150,000	0	150,000	
修繕支出	0	0	0	
租税公課	0	400	-400	
渉外費	309,961	309,961	0	
J C I 渉外費	318,000	318,000	0	
備品購入支出	100,000	100,000	0	
雑支出	100,000	100,000	0	
賃借料	792,000	8,048,868	-7,256,868	
保険料	291,195	560,231	-269,036	
諸謝金	0	2,609,766	-2,609,766	
委託費	0	26,806,414	-26,806,414	
助成金	0	16,225,171	-16,225,171	
寄付金	0	0	0	
接待交際費	0	1,122,822	-1,122,822	
雑費	20,765,169	35,090	20,730,079	
予備費	1,761,972	1,197,194	564,778	
③負担金支出	2,494,424	2,405,544	88,880	
加盟団体会費支出	2,494,424	2,405,544	88,880	
④他会計への繰入金支出	0	0	0	
他会計への繰入金支出	0	0	0	
事業活動支出計	85,561,265	72,877,000	12,684,265	
事業活動収支差額	395,035	1,707,933	-1,312,898	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
<b>1. 投資活動収入</b>				
保証金戻り収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
<b>2. 投資活動支出</b>				
①特定資産取得支出	0	0	0	
積立引当財産支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
<b>III 財務活動収支の部</b>				
<b>1. 財務活動収入</b>				
①借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
<b>2. 財務活動支出</b>				
①借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
<b>IV 予備費支出</b>				
予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	395,035	1,707,933	-1,312,898	
前期繰越収支差額				
次期繰越収支差額				

公益社団法人岡山青年会議所 正味財産増減計算書  
2023年1月1日から2023年12月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	予算額 (公益)	予算額 (共益等)	前年度予算額	差額
一般正味財産増減の部					
経常収益					
基本財産運用益	3,000	30,000		10,000	-7,000
基本財産受取利息	3,000	30,000		10,000	-7,000
特定資産運用益					0
特定資産受取利息					0
受取入会金	3,000,000	1,500,000	1,500,000	3,600,000	-600,000
受取入会金	3,000,000	1,500,000	1,500,000	3,600,000	-600,000
受取会費	28,845,000	14,422,500	14,422,500	27,550,000	1,295,000
正会員受取会費	25,470,000	12,735,000	12,735,000	24,300,000	1,170,000
特別会員受取会費	2,800,000	1,400,000	1,400,000	2,800,000	0
特別会員積立金収入	575,000	287,500	287,500	450,000	125,000
事業収益	53,808,000	35,310,500	18,497,500	42,843,933	10,954,067
青少年育成事業収益	2,950,000	2,950,000	0	3,700,000	-750,000
人材育成事業収益	1,995,000	1,995,000	0	1,720,000	275,000
地域活性化事業収益	30,365,500	30,365,500	0	28,918,933	1,446,567
会員研修事業収益	18,497,500	0	18,498,500	8,505,000	9,992,500
受取補助金等					
受取国庫補助金	0	0		0	0
受取負担金	0	0		0	0
受取負担金	0	0		0	0
受取負担金振替額					
受取寄付金	300,000	150,000	75,000	580,000	-280,000
受取寄付金	300,000	150,000	75,000	580,000	-280,000
募金収益	0				
受取寄付金振替額	0				
雑収益	300	150	150	1,000	-700
受取利息	300	150	150	1,000	-700
有価証券運用益	0			0	0
雑収益	0			0	0
経常収益計	85,956,300	51,386,150	34,495,150	74,584,933	11,371,367
経常費用					
事業費	77,897,630	53,018,880	24,878,750	66,924,045	10,973,585
給料手当	0	0	0	1,137,500	-1,137,500
人材派遣費	1,050,000	900,000	150,000	0	1,050,000
接待交際費	0	0	0	1,122,822	-1,122,822
会場設営費	13,662,625	6,615,588	7,047,037	0	13,662,625
企画・演出費	23,884,446	10,254,452	13,629,994	0	23,884,446
本部関係費	457,958	399,708	58,250	0	457,958
講師関係費	2,182,940	2,102,940	80,000	0	2,182,940
広報費	5,745,740	5,458,706	287,034	0	5,745,740
資料作成費	784,120	664,880	119,240	0	784,120
報告書作成費	300,118	87,358	212,760	0	300,118
渉外費	0	0	0	0	0
旅費交通費	792,000	0	792,000	0	792,000
参加記念品費	1,488,921	513,403	975,518	0	1,488,921
保険料	291,195	251,195	40,000	560,231	-269,036
通信運搬費	836,676	761,676	75,000	3,342,644	-2,505,968
減価償却費	0	0	0	0	0
什器備品費	87,500	75,000	12,500	87,500	0
消耗品費	306,250	262,000	43,750	679,225	-372,975
印刷製本費	875,000	750,000	125,000	2,376,220	-1,501,220
賃借料	2,625,000	2,250,000	375,000	10,743,868	-8,118,868
諸謝費	0	0	0	2,609,766	-2,609,766
租税公課	0	0	0	400	-400
支払負担金	0	0	0	0	0
支払助成金	0	0	0	16,225,171	-16,225,171
支払寄付金	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	26,806,414	-26,806,414
有価証券運用費	0	0	0	0	0
雑費	20,765,169	20,756,699	8,470	35,000	20,730,079
予備費	1,761,972	914,775	847,197	1,197,194	564,778
管理費	7,663,635		7,663,635	5,952,955	1,710,680
給料手当	0		0	162,500	-162,500
人材派遣費	150,000		150,000	0	150,000
接待交際費	0		0	0	0
福利厚生費	0		0	0	0
旅費交通費	0		0	0	0
通信運搬費	75,000		75,000	75,000	0
減価償却費	0		0	0	0
什器備品費	12,500		12,500	12,500	0
消耗品費	43,750		43,750	43,750	0
印刷製本費	125,000		125,000	135,700	-10,700
燃料費	0		0	0	0
光熱水料費	0		0	0	0
賃借料	375,000		375,000	385,000	-10,000
保険料	0		0	0	0
諸謝費	0		0	0	0
租税公課	0		0	0	0
支払負担金	2,494,424		2,494,424	2,405,544	88,800
支払助成金	0		0	0	0
支払寄付金	0		0	0	0
委託費	3,660,000		3,660,000	2,005,000	1,655,000
有価証券運用費	0		0	0	0
雑費	727,961		727,961	727,961	0
経常費用計	85,561,265	53,018,880	32,542,385	72,877,000	12,684,265
当期経常増減額	395,035	-1,632,730	1,952,765	1,707,933	-1,312,898
当期一般正味財産増減	395,035	-1,632,730	1,952,765	1,707,933	-1,312,898
一般正味財産期首残高				68,617,260	0
一般正味財産期末残高				70,325,193	

公益目的事業比率

53,018,880  
85,561,265

=

0.620

公益社団法人岡山青年会議所 正味財産増減計算書内訳表  
2023年1月1日から2023年12月31日まで

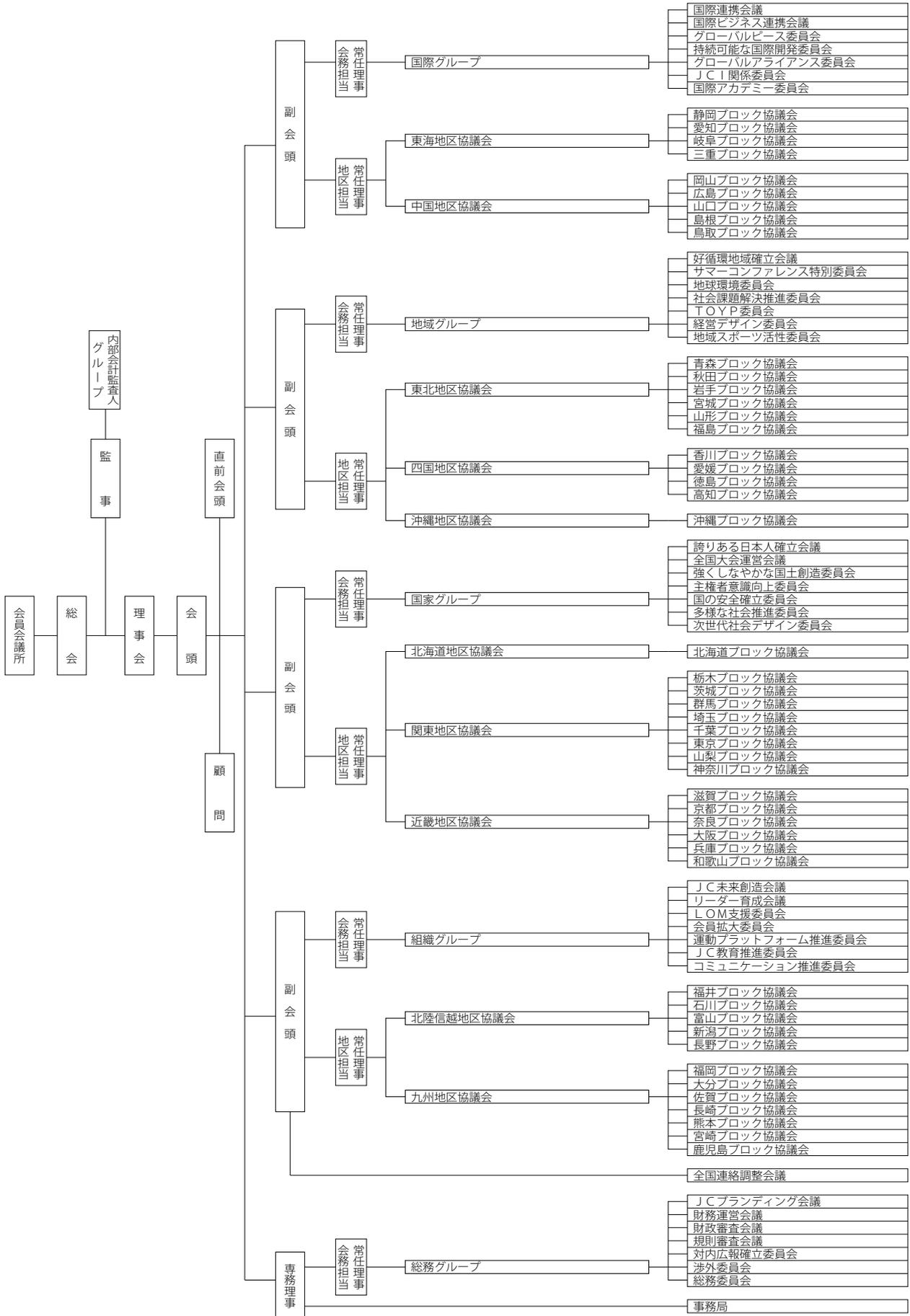
(単位：円)

科目	公益目的事業				収益事業等		法人会計	内部取引	合計
	公1 青少年育成	公2 人材育成	公3 地域活性化	共通	小計	他1 会員研修			
一般正味財産増減の部									
経常収益									
基本財産運用益				3,000	3,000				3,000
基本財産受取利息				3,000	3,000				3,000
受取入会金				1,500,000	1,500,000	750,000	750,000	750,000	3,000,000
受取入会金				1,500,000	1,500,000	750,000	750,000	750,000	3,000,000
受取会費				14,422,500	14,422,500	7,211,250	7,211,250	7,211,250	28,845,000
正会員受取会費				12,735,000	12,735,000	6,367,500	6,367,500	6,367,500	25,470,000
特別会員受取会費				1,400,000	1,400,000	700,000	700,000	700,000	2,800,000
特別会員積立金収入				287,500	287,500	143,750	143,750	143,750	575,000
事業収益	2,950,000	1,995,000	30,365,500		35,310,500	18,497,500	18,497,500		53,808,000
青少年育成事業収益	2,950,000				2,950,000		0		2,950,000
人材育成事業収益		1,995,000			1,995,000		0		1,995,000
地域活性化事業収益			30,365,500		30,365,500		0		30,365,500
会員研修事業収益					0	18,497,500	18,497,500		18,497,500
受取補助金等					0				0
受取国庫補助金					0				0
受取負担金					0				0
受取負担金					0				0
受取負担金振替額					0				0
受取寄付金	0	0	0	150,000	150,000	75,000	75,000	75,000	300,000
受取寄付金	0	0	0	150,000	150,000	75,000	75,000	75,000	300,000
雑収益				150	150	75	75	75	300
受取利息				150	150	75	75	75	300
有価証券運用益									
雑収益									
経常収益計	2,950,000	1,995,000	30,365,500	16,075,650	51,386,150	26,458,825	26,533,825	8,036,325	85,956,300
経常費用									
事業費	6,392,494	4,359,837	42,266,549		53,018,880	24,878,750	24,878,750		77,897,630
給料手当	0	0	0		0		0		0
人材派遣料	75,190	50,849	773,961		900,000	150,000	150,000		1,050,000
会場設営費	1,778,120	744,700	4,092,768		6,615,588	7,047,037	7,047,037		13,662,625
企画・演出費	2,142,693	123,490	7,988,269		10,254,452	13,629,994	13,629,994		23,884,446
本部関係費	399,708	0	0		399,708	58,250	58,250		457,958
講師関係費	0	2,102,940	0		2,102,940	80,000	80,000		2,182,940
広報費	636,514	986,468	3,835,724		5,458,706	287,034	287,034		5,745,740
資料作成費	175,380	0	489,500		664,880	119,240	119,240		784,120
報告書作成費	1,158	0	86,200		87,358	212,760	212,760		300,118
渉外費	0	0	0		0	0	0		0
旅費交通費	0	0	0		0	792,000	792,000		792,000
参加記念品費	0	0	513,403		513,403	975,518	975,518		1,488,921
保険料	243,125	0	8,070		251,195	40,000	40,000		291,195
通信運搬費	186,355	25,424	549,897		761,676	75,000	75,000		836,676
減価償却費	0	0	0		0	0	0		0
什器備品費	6,266	4,237	64,497		75,000	12,500	12,500		87,500
消耗品費	21,930	14,831	225,739		262,500	43,750	43,750		306,250
印刷製本費	62,658	42,374	644,968		750,000	125,000	125,000		875,000
賃借料	187,975	127,122	1,934,903		2,250,000	375,000	375,000		2,625,000
諸謝費	0	0	0		0	0	0		0
租税公課	0	0	0		0	0	0		0
支払負担金	0	0	0		0	0	0		0
支払助成金	0	0	0		0	0	0		0
支払寄付金	0	0	0		0	0	0		0
委託費	0	0	0		0	0	0		0
有価証券運用費	0	0	0		0	0	0		0
雑費 雑支出	260,890	5,170	20,490,639		20,756,699	8,470	8,470		20,765,169
予備費	214,532	132,232	568,011		914,775	847,197	847,197		1,761,972
管理費								7,663,635	0
役員報酬								0	0
給料手当								0	0
人材派遣費								150,000	150,000
旅費交通費								0	0
通信運搬費								75,000	75,000
減価償却費								0	0
什器備品費								12,500	12,500
消耗品費								43,750	43,750
修繕費								0	0
印刷製本費								125,000	125,000
賃借料								375,000	375,000
保険料								0	0
諸謝費								0	0
租税公課								0	0
支払負担金								2,494,424	2,494,424
支払寄付金								0	0
支払利息								0	0
委託費 総務費								300,000	300,000
委託費 事務委託								1,210,000	1,210,000
委託費 会員費								2,000,000	2,000,000
委託費 特別会員費								150,000	150,000
委託費 広報費								0	0
雑費 渉外費								309,961	309,961
雑費 JCI 渉外費								318,000	318,000
雑費 雑支出								100,000	100,000
経常費用計	6,392,494	4,359,837	42,266,549	0	53,018,880	24,878,750	24,878,750	7,663,635	85,561,265
評価損益等調整前当期経常増減額									0
特定資産評価損益等									0
評価損益等計									0
当期経常増減額	-3,442,494	-2,364,837	-11,901,049	16,075,650	-1,632,730	1,580,075	1,655,075	372,690	395,035
経常外費用計									0
当期経常外増減額	-3,442,494	-2,364,837	-11,901,049	16,075,650	-1,632,730	1,580,075	1,655,075	372,690	395,035
当期一般正味財産増減	-3,442,494	-2,364,837	-11,901,049	16,075,650	-1,632,730	1,580,075	1,655,075	372,690	395,035
一般正味財産期首残高									0
一般正味財産期末残高									0

## 公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 理事長公職委嘱表

- 岡山県青少年育成県民会議 理事
- 岡山県FOS少年団連盟 理事
- 社会福祉法人岡山県共同募金会 評議員
- 岡山中央暴力追放推進協議会 会員
- 岡山県西暴力追放推進協議会 会員
- 「小さな親切」運動岡山本部 役員
- 第73回“社会を明るくする運動”岡山県推進委員会 委員
- 国立吉備少年自然の家 施設業務運営委員会 委員
- 岡山市交通安全対策協議会 委員
- 岡山国際音楽祭実行委員会 実行委員
- 公益財団法人岡山市公園協会 評議員
- 春の花いっぱい運動 主催団体
- MOMOTAROH FANTASY実行委員会 実行委員長
- 「心豊かな岡山っ子」応援団 団員
- 岡山市オレンジリボンキャンペーン実行委員会 実行委員
- 岡山市ジュニアオーケストラ後援会 理事
- 岡山まちとモビリティ研究会 会員
- 岡山っ子育成条例推進会議 委員
- 旭川かわまちづくり計画事業推進会議 委員
- 岡山県日韓親善協会 理事
- 岡山県警察友の会 会員
- 「6月1日岡山市民の日」推進協議会 理事

公益社団法人日本青年会議所 2023年度 組織図





## 公益社団法人岡山青年会議所 歴代理事長

初代	1951年	江見祐吉	第37代	1987年	伊原木省五
第2代	1952年	江見祐吉	第38代	1988年	池田金治郎
第3代	1953年	松田基	第39代	1989年	若林昭吾
第4代	1954年	松田基	第40代	1990年	中島康博
第5代	1955年	服部好郎	第41代	1991年	永野資幸
第6代	1956年	稲田洋一	第42代	1992年	松田久
第7代	1957年	藤木昌二	第43代	1993年	服部恭一郎
第8代	1958年	池田徳五郎	第44代	1994年	柳井淳
第9代	1959年	庭瀬欣一郎	第45代	1995年	森下矢須之
第10代	1960年	松田堯	第46代	1996年	西康宏
第11代	1961年	関種雄	第47代	1997年	梶谷俊介
第12代	1962年	西下賢治	第48代	1998年	稲荷泰瑛
第13代	1963年	逢沢英雄	第49代	1999年	永山久人
第14代	1964年	石原真臣	第50代	2000年	黒瀬仁志
第15代	1965年	小林達也	第51代	2001年	西川智晴
第16代	1966年	中島輝夫	第52代	2002年	岡崎正裕
第17代	1967年	黒瀬友近	第53代	2003年	藤原史暁
第18代	1968年	小林稔	第54代	2004年	梶原康彦
第19代	1969年	奥山勝太郎	第55代	2005年	八木一成
第20代	1970年	中島博	第56代	2006年	占部守弘
第21代	1971年	木原佑一	第57代	2007年	吉村武大
第22代	1972年	黒瀬敦美	第58代	2008年	石田敦志
第23代	1973年	中野英一	第59代	2009年	永山雅己
第24代	1974年	徳元秀臣	第60代	2010年	岸本浩二
第25代	1975年	福武和彦	第61代	2011年	中山賢太郎
第26代	1976年	片山義久	第62代	2012年	有松林太郎
第27代	1977年	伊原木一衛	第63代	2013年	尾崎茂
第28代	1978年	石田規夫	第64代	2014年	鈴木森賢史
第29代	1979年	藤原敬介	第65代	2015年	久松朋史
第30代	1980年	前坂匡紀	第66代	2016年	佐野範一
第31代	1981年	服部弘平	第67代	2017年	高見宣哉
第32代	1982年	野津喬	第68代	2018年	青木浩平
第33代	1983年	岡崎彬	第69代	2019年	古市聖一郎
第34代	1984年	滝澤輝治	第70代	2020年	高山晃一
第35代	1985年	小嶋光信	第71代	2021年	小林佑輔
第36代	1986年	末長範彦	第72代	2022年	石井聖至

(敬称略)

## J C 宣 言 文

日本の青年会議所は  
希望をもたらす変革の起点として  
輝く個性が調和する未来を描き  
社会の課題を解決することで  
持続可能な地域を創ることを誓う

## 岡山 J C 設立趣意書

1. 経済活動は、人類社会の基盤であり青年は人類社会発展の原動力であります。吾々はこの意義と誇りの重責に答えんとしここに岡山青年会議所を設立せんとする。
2. 急迫せる国際情勢下郷土の産業経済的發展、日本経済の再建にたずさわる吾等青年実業家の任務はまことに重大である。吾等郷土の経済活動の第一線にたずさわるもの縣下の各層にわたり同土を集め、もつて岡山青年会議所を其の名にふさわしいものにせんとする。
3. 国際経済を離れて日本経済は成立しない。吾等は日本青年会議所を通し、国際青年会議所の精神をわがものにし、国際親善に志し世界の青年と緊密なる提携のもとに平和に寄與し経済活動における人道的世界観を築きもつて祖国日本郷土岡山のあやまりなき再建にいささか貢献せんとする。

(1951年2月6日 創立総会)

